滿洲日報　夕刊　十月五日

一部の反對を押切り 張學良氏副司令就任

既に就任を拒む理由消滅し 双十節を期し擧式か

【奉天特電五日發】張學良氏が陸海空軍副司令に就任することは既に確定的で十月十日の國慶日に就任式を擧行するものと豫期されてゐる、一部には張學良氏は河南の戰局が馮玉祥軍に有利に展開されてゐること及び中央側が東北軍出動の交換條件を約束通り履行しないため就任を躊躇してゐると傳へられまたいはゆる元老派の中に今なほ就任に反對の意見が消えないことも事實であるが九月十八日の張學良氏の通電これに引き續いての京津出兵に於て東北の態度を中央擁護に明白に表示した以上既に就任を拒む理由は全然消滅してゐるのであるから何等かの事情によつて十日から幾分遲れることがあるとしても就任することは既定の事實とみられてゐる（寫眞は最近の張學良氏）

節約範圍一億 三千萬圓見當

【東京特電五日發】政府が行政整理を名として過般六千萬圓の節約を圖したのは歲入激減の穴埋めだつたが歲入豫算改訂後三ケ月の實績を見るに依然豫算より減少を示してゐるも大藏省の豫算よりは惡くなく大體六千萬圓程度で喰止め得る見込が就いた、依つて主稅局は改訂後の歲入を大體の基準として明年度歲入豫算を編成中だが酒稅は更に三四千萬圓の減收及び森林收入も相當減收を豫想され結局大體一億三千萬圓の範圍節約を其の輪廓としてゐるものゝ如くである

倫敦條約論功行賞

三全權には總花的に 授爵奏請實現されん

【東京特電四日發】ロンドン條約の御批准も滯りなく終了したので政府は本條約締結の論功行賞につき愼重考究中であるが愈々十一月末頃を期し若槻首席全權以下關係功勞者の行賞を行ふことに内定した模樣である、而して右に關し若……

決定的と 見られてゐる……ただ問題となるのは今回……財部前海相並に松平駐英大使……階で政府は目下關係各方面の……を參酌中である、松平大使の……

軍事協定 に關して軍部の一部に反對があることは常態であつて軍事參議會も兎に角承認し、樞府も異議なく可決した結果御批准を得たのであるから從來かかる場合の慣例から言つても……

明年度豫算

廿日ごろまでに 大藏省原案決定

十一月四、五日頃豫算閣議 主計當局の意嚮

【東京五日發電通】各省の新規要求に關する一通りの査定を終り大藏省主計局は主稅局其の他歲入官廳より通牒されたる第二回歲入見積に基いて既定經費節約案の再調査を行つてゐるが歲入狀態益々惡化の爲め

再調査も 困難を極めてゐる模樣である、而して海軍の補充計畫と減稅との照合査定も來週より着手される筈である、主計局の豫定では出來得れば來週中に之等一切の査定を終り十三日頃より大藏省議を開いて二十日頃迄に大藏省原案を決定し直に各省との交涉に移り十一月四、五日頃豫算閣議開催迄に漕ぎ付けたいと希望してゐる、斯くの如く各省との交涉期間を例年の四、五日と異り二週間と云ふ長期の餘裕を見んとするのは節約案が餘りに尨大なる爲め交涉に際し少からず紛糾を惹起し解決迄には幾分の困難を豫想せるためであるが

歲入激減 重要政策を盛る巨額の新規要求、强硬なる海軍の補充計畫公約の減稅等困難複雜を極むる明年度豫算が果して二十日頃迄に大藏省に於て纏まるか期待し難く豫算閣議も遲延するだらうと見られてゐる

世界十月の問題

(上) 秋を彩るその數々

ドイツの政局

英帝國會議

賠償金問題

政府の減稅案は 誤魔化しだ

大養總裁の車中談

如何に騷いでも 議會に提出

勞働組合法案と内務省の意嚮

政府所有米を 海外に處分

政府の米價應急對策

浦鹽鮮銀支店問題 損害賠償要求か

勞農の檢査漸く終了

都市問題會議

第二回豫想は 更に增收か

その後の天候も順調

宇垣陸相辭任說

開院式出席も危惧さる

聯盟總會閉會

公債相場反撥

勞農のダンピングを禁止

日曜閑話

尊敬と信仰

長尾半平氏談

矍鑠、壯者を凌ぐ銀杯受領の高齡者
全滿を通じ實に百十五名に達す
本社の喜の字祝に

本社二十五周年並に新社屋落成記念として新設された本社社會奉仕部に於てはさきに駐滿陸海軍各部隊および滿洲各地警察團に對し慰問品を贈るべく、その品物を懸賞にて一般より募集し同時に滿洲における邦人の先驅者であり、又現在滿洲にて活躍しつゝある邦人のよき指導者である在滿高齡者に對して、いさゝか感謝の意を表すると同時に、その喜の字祝の意味を兼れ

七十七歳以上の高齡者に對して記念銀杯を贈るべく、一般より高齡者の申し出を社告したところ、俄然各方面の好評を博し、旬日ならずして百數十名の應募者を得たのであつた、その後申出書に依り、各方面調査の結果、七十七歳以上の高齡者百十五名に對し本社銀杯を贈呈する事になつたのであるが、殊に

九十歳以上の高齡者さへ見出す事が出來たのは如何に滿洲に於ける邦人の根が深く下りてゐるかを知り得べく、この一事に於ても本社今回の催しが必ずしも敬老の一事に止まらず、非常に意味深いものであつたといへよう、なほ右資格を有する高齡者は全滿各地にわたつてゐるが、殊に最高齡者たる天保十年生れの原籍大阪市、奉天琴平町在住の吉岡サノさん（九二）天保十一年八月生原籍島根縣、大連加茂川町居住飯塚フジさ

んの如きはこの高齡にもかゝはらず日々家事を手傳ふ程で實に矍鑠たるものである、なほ高齡者を地方別にすれば大連七十一名、奉天十四名、旅順九名、その他沿線各地で

あるが、男子三十七名、女子六十八名で女子の數は男子の約二倍を示してゐた（寫眞は上より吉岡サノさん、飯塚フジさん、伊奈やすさん（八九）藤田清次郎さん（八九）と贈る三ツ重の銀杯）

刑事連を奔弄する グロ事件續出
虛榮を趁ふ若き人妻
獵犬を連れた學生服の怪盜

虛榮に溺るゝ若き人妻をめぐりて關東館内の怪事——獵犬をつれた學生服の怪盜出沒——など探偵興味を唆るグロテスクな事件が續出し流石敏腕の大連署刑事連も手の奔弄の形で事件の解決に汗だくの態だ——

短時間のうちに大膽な犯行
錠も元通りにして指紋も殘さぬ用意周到振り

市内薩摩町三六番地滿鐵宿舍關東館内に最近續々たる盜難事件ありしかも女の獨身宿舍を覘つて忍び込み、極めて短時間のうちに大膽な犯行を仕遂げ、指紋も殘さず、錠も元通りにして逃走するので、容易に手掛りがなく所轄大連署でも手を燒いてゐるが、數日前同館内の滿鐵家庭研究所教師田鎮ツウ（二三）方へ

何者か
忍び入り衣類（百三十五圓）を盜み去つた事件があつた、その際犯人が合鍵をもつて忍び入つた犯跡が漸く判明し内部の事情に精通した者の仕業で、殊に女物を好んで竊取する點から推察し、犯人は若き女性で着物を多くためることによつて自己の虛榮心を窃に滿たしてゐるといふ女性特有の犯罪心から出發した犯行と睨み爾來大連署では鋭意内偵の歩を進めてゐる、元來關東館内には三百戸の世帶を包容してゐるに拘らず僅か二種類の鍵よりなく

自由に
合鍵をもつて他人の家屋に出入出來るようになつてゐるため、遂に今日の如き續々たる竊盜事件を惹起せしむるに至つたもので、館内の人々は一戸一種の鍵に改められんことを連判狀にして滿鐵社宅係に要求することになつてゐるといふ

犬に張り番させ數軒に忍び込む
奇怪な學生服の賊
大連署刑事が躍起の搜査

獵犬をつれた某中學校の制服を着た怪盜出沒さいへば、獵奇を好む近代人には打つてつけの尖端的犯罪だ——これも數日前のこと、市内揚子町百四十番地榊生由太郎氏方の裏口へ、午前零時といふ人の寢靜まつた頃を見計らひ、暗から生れた學生服着用の大男と獵犬一匹——やがて

怪しい
大男は獵犬に見張りさせて、自分は榊生方の便所汲取口から忍び入り、縁側の硝子窓を破り、屋内に拔き足、差し足、二階の應接間から茶間を搜し廻つた揚句、現金百二十圓とダイヤの腕卷時計一個（時價八十圓）その他衣類、貴金屬を合せて二百數十圓を盜み、元來た便所の汲取り口から暗に紛れて逃走した、事件はこればかりでなく同樣手段で數軒の邦人宅を襲ふてゐる、犬をつれてゐるのは見張りをさせるためさ巡邏警官の目を誤覺化す

手段で
あつて、近頃珍しい怪盜として大連署刑事が躍起の搜査を續けてゐる

味覺の秋　雲西亞町に揚がる熟柿

隅田川の運轉手殺し
遂に逮捕さる　ふたりで兇行

【東京五日發電通】既報神田區蠟燭町澁谷タクシー方運轉手村松勝雄（二三）を絞殺したうへ死體に十貫餘の錘を附けて隅田川口に遺棄した犯人につき警視廳は極力搜査中のところ、去る二日に至り被害運轉手操縦の自動車が前橋市で發見され引續き四日午前十時半には千住方面に潜伏中を逮捕された、犯人は二人で主犯は市内尾久町居住運轉手朝比奈兼吉（二三）共犯は住所不定野原□雄（二三）である

大連アマチュア庭球大會
參加チーム四十九組におよび各試合とも接戰演出

體育堂主催の第一回大連アマチュア庭球大會は五日午前八時より北公園テニスコートにおいて擧行されたが、參加チーム四十九組の多數にのぼり各組接戰を演じた、午前中の戰績左の如くである

豫備戰 ▲加來、井上（滿銀）四—二森、坂井（霞）▲矢野、瀬川（工專）四—〇有馬、坂上（電信）▲菊川、月輪（霞）四—二日高、丸山（二中）▲川瀬、渡邊（育成）四—〇小川、櫻井（滿銀）▲二宮、高橋（小野田）四—〇上田、大瀧（一中）▲阿部、楠（育成）四—一西川、有山（理試）▲河合、富浦（中試）四—三因藤、小須田（一中）▲近藤、三浦（豆信）四—三佐々木、百武（理試）▲鶴田、平井（大商）四—三森田松田（一中）▲内倉、持原（育成）▲荒川四—〇杉原、島地（衛研）▲永見（電信）四—二三見、小針（理試）▲德永、小野寺（霞）四—一高峯、大浦（豆信）

第一回戰 ▲内村、岡見（滿本）四—〇上利、藤本（衛研）▲西尾、安藤（育成）四—一上坂、奥村（滿銀）▲東本、外山（電信）▲園部四—一林田、植木（育成）▲横地（中試）四—三大下、小川（大商）▲廣瀬、内藤（吾妻）四—二入江、山本（豐成）▲米地、森川（霞）四—二久保田、關（二中）▲伊藤、瀧（育成）四—二後藤、松木（一中）▲山田、堺（霞）四—三阿蘇、山本（列車）

秋の競馬
日曜で人氣湧く
午前中の成績

星ケ浦における臨時競馬最終日たる五日は折柄の日曜と秋空一碧好晴に惠まれて一段と人氣を湧き立たせ殊に第四競馬では一着の配當五十圓更に二着の配當七圓五十錢といふ本競馬期間中に未だ見ざる配當ありファンをうならせた、午前中の成績左の如し

▲第一競馬（秋季抽籤）千六百米 第一着一瞬（川合騎手）二分廿秒 第二着伏見、第三着玉錦（配當五圓）

▲第二競馬（新古呼）千八百米 第一着大星（小川騎手）二分十九秒一、第二着羅自玉、第三着瑞寶（配當八圓十錢）

▲第三競馬（各抽）千六百米 第一着榮（奥田騎手）二分十一秒、第二着良因、第三着、張飛（配當六圓七錢）

▲第四競馬（秋抽）千六百米 第一着發矢（足立騎手）二分十七秒五分の二、第二着愛國、第三着寶（配當一着五十圓、二着七圓二十錢）

家族連れの見物人で滿員
日曜と好天氣に惠まれて　けふの本社廣告展

本社記念廣告展は開會以來非常な盛況で、連日二千名以上の來會者によつて會場は滿されてゐるが、本日は日曜の事でもあり加ふるに近頃にない好天氣に惠まれた爲入場者は平日に倍し會場内は殆ど動かれぬ有樣、殊に三階講堂における餘興場の如きは十二時前滿員であるにもかゝはらず十時過ぎより滿員で入場を斷るの盛況さであつた賣店もまた非常な好評で賣上高連日に倍してゐた、なほ既報の如く廣告展の開期は九日迄延期するが九日は學生のために解放するので一般の入場はお斷りする

早くも大スキー場の新設準備
安奉線の丕頭山に

【奉天特電五日發】冬の運動シーズンを前に控へ早くも安奉線姚千戸屯の丕頭山に大スキー場の新設計畫を樹て目下着々準備を進めてゐるが、スキー季節には日曜、祭日に限り第二百廿一列車を丕頭山驛に停車せしめ、スキー場には休憩場その他の設備をなしスキーヤーを迎へることゝなつてゐる

奉天に初霜
例年より遲いが愈よ寒くなる

【奉天特電五日發】天候は回復したものゝ三日以來朝夕氣温はグッと下り四日朝は奉天にも初霜を見るに至つた、例年に比し二日、昨年に比し四日遲いが寒さもこれからいよ〳〵本調子に入るわけである

旅順重砲隊

水師營附近に於て五日間の陸地射擊演習を了つた旅順重砲大隊では三日右演習終了さ同時に午前十時攻城山高地へ向かつて大隊射擊を行つたが當日菱刈軍司令官は高橋參謀、今村副官を隨へ又久保田海軍駐在武官、藤縣衛戍病院長、松下旅順要塞參謀外部員多數の參觀者があつた、因に同大隊は來る十二日頃奥地に向け出發、關東軍隷下を離れ獨立守備隊司令官の麾下に入り警備演習に參加の上長春以南に行はる師團演習に參加する由

5A—0
カーヂナルス軍堂々と辱を雪ぐ
ア軍手も足も出ず零敗の憂目
世界野球爭覇三回戰

【セント・ルイス四日發電通】ワールドシリース第三回戰はカーヂナルスのホーム・グラウンドなるセント・ルイスにおいて擧行二回連敗のカ軍は豫想を裏切つて五A——對零で堂々と雪辱したカ軍はレギュラーの捕手ウィルソンを起用、ア軍はウォルバーグ投手（左腕）を起用したが、かくて試合はカ軍は雪辱の意氣物凄くダウシットの本壘打を皮切りに確實にしたが、これに對しア軍は手も足も出ず三塁を踏むものなく完封の憂目を迎へたがものにならず、試合經過左の如し

										計
ア軍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カ軍	0	0	0	1	1	0	2	1	A	5A

經過

△第一回　ア軍ビショップ安打せるもダイクス一併▲カ軍ハーフエーワトキンス共に安打し走者二三壘を占めウイルソン安打に二者生還、ゲルバート一併にウイルソン刺殺、ハラハン三振後ダウシット又も安打し走者二三壘に據（ア軍クキン投手となる）アムス投殺

△第二回　兩軍走者なし

△第三回　ア軍一死後ダイクス三振、シモンズ三振、フオクスて二死滿壘となつたがコックレン共に四球を得たがシモンズの遊僻にコックレン併殺▲カ軍三者凡退

△第四回　ア軍走者なし▲カ軍ダウシット本壘打し先づ一點を占めたが續く三者凡退

△第五回　ア軍二死後ビショップの安打ありしのみ▲カ軍一死後ブレーヅ中堅安打ウイルソン右翼安打にブレーツ三進、ゲルバートの左翼安打に生還、ウイルソン三壘に走つて右翼手の送球に刺さる、ハラハン四球（此の時ア軍ショーアズ投手となる）

△第六回　ア軍（カ軍ブレーズ退きワトキンス右翼に入る）一死後シモンズ二壘打に出たが後援なし▲カ軍走者なし

△第七回　ア軍二死後ショアーズを得二走者となつたがダウシット

△第九回　ア軍ハースに代るムーア安打し二死後ビショップ四球を得たがダイクス三振して五A對〇でア軍慘敗す

ア軍	打數	安打	三振	四球	犠打	失策
ビショップ	4					
ダイクス	5					
コックレン	2					
シモンズ	7					
フォックス	1					
ミラー	9					
ハース	8					
ムアー	PH					
ボーレー	6					
ウオルバーグ	1					
ショアーズ	1					
クキン	1					
マックネヤー	PH					
計	33	7	6	5	0	

カ軍						
ダウシット	8					
アダムス	5					
フリッシュ	2					
ボツムレー	1					
ハーフエー	7					
ブレーズ	9					
ワトキンス	9					
ウイルソン	2					
ゲルバート	6					
ハラハン	1					
計	33	10	4	1	0	

▲本壘打一、二壘打三

グライダーの公試運轉に成功
磯部少佐の研究傳はる

【東京五日發電通】歐米で目下盛にスポーツとして行はれてゐる無發動機飛行機について磯部海軍豫備少佐は數年來研究中であつたが漸く自信のある機體を製作し得たのでその公試運轉を既報の如く四日午後三時から駒澤練兵場で行つた、機體は幅約六メートル、長さ五メートルの非常に輕快なもので片岡一等飛行士が操縦者としてこれに乘込み二十哩のスピードを以て自動車に牽引させた、自動車がスタートすると直に機體は浮あがり約十二メートルの高さに上ると同時に自動車の引綱を切つたが、その儘至極なだらかに飛行し高さ十二メートルの高度を以て約百メートルを飛行し第一回の公試運轉はこれを以て成功裡に終り、第二回は護謨の綱を用ひて行つたがこれまた何等の故障なく高さ約十メートルをもつて五十メートルほど進み靜かに着陸した、當日は陸海軍關係者の參觀が多數あつた

訪日の英婦人飛行機
バスラー通過

【バスラー（イラク）四日發電通】訪日英飛行家ブルース夫人は四日午前五時四十五分バグダットを發しペルシヤのブシルに向ふ途中當地上空を通過した

加茂博士歡迎會

滿洲技術協會では東京帝大教授工學博士加茂正雄氏が世界動力會議その他の用務を終へシベリヤ經由にて歸朝の途上、七日朝着連するので同夜同博士の歡迎會を催すと、申込は電三五三〇番へ

滿日少年軍捷つ

大連新聞對滿洲日報少年スポンヂ野球試合は五日午前八時三十分土佐町公學堂運動場にて開始、滿日少年軍長打を連發し結局十六對七にて滿日軍大勝した

前澤三郎氏

市内伊勢町金物商前澤洋行主前澤三郎氏は豫て榻病靜養中のところ家族の手厚い看護も効なく遂に四日午後九時四十七分聖德街別宅にて死去した

俠艶一代男 (76)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

百花園の秋(十)

「ねえ旦那！知らないものは知らないといふより外にござんせぬ、幾らそんな恐い顔をして、詰め寄つた所で、私も唯のお兼です。意地になりやア尚更、知つてることだつて、知らないで通しますよ。骨が砂利にならうと、金輪際口を割ることぢやござんせぬ」

お兼は薄笑ひを浮べたまゝ空嘯いた。

「では手前、この俺がこれ程に聽んでも、意地づくから云はれねえと吐すんだな！」

「威嚇ひされちや困りますよ。外ならない旦那のこと、知つてることなら何なりと、洗ひざらひ聽かせてあげますよ。そりやお前さんの云ふ通り、事情があつて、道玄と逢ひました。御覧の通りな御主殿、淺草奥山の矢場女、寶亭のお兼としては化け過ぎてゐますから定めし變にお考へでしようが、これもお金儲けからの一芝居でさアね」

「そんな事アどうでもいい、手前本當に道玄の行先を知られえと吐すんだな」

ジリ〳〵と憤怒が胸先へこみあげて、返事次第に叩きのめして遣りたい衝動に驅られてゐた。

「あい一向に知りませんよ」

ポンと素氣なく突き放し、冷たい河風になぶられる後れ毛を指先で掻きあげながら、太々しい振を見せた。

「うむ！」

と、呼吸込んだ源吉が、どうして呆れやうかと、ぐつと睨み据えたまゝ、相手が女だけ鳥渡手出しかねて、立ち竦んだ。

「旦那！勘忍して下さいよ！」

堅く、風に逆らつて立つ大木がポッキリと途中から折れたやうにぐつたりと急に碎けて、氣を抜いた弱々しい調子で

「ねえ旦那！私アお前さんに怒られるのがいつち辛いのでござんすよ。道玄に逢つたつて、喧嘩別れも同じに別れて來ました。嘘言も隠しもするものですか？人眼を怖れる彼奴のこと何で私に隠れ場所など明すものですかね！それよりは、お前さんがどうして道玄を追ひ廻すか？その事情を知りたうございますが、事と次第ではお話に乘らぬものでもござんせぬ」

源吉も、急に折れて出たお兼の言葉を聞いてゐると、滿更虚言とも思はれぬ節もあつて、呼吸込んでゐただけに張合ぬけの氣味もあつた。

「事情と云ふのは外でもねえ、お前と同じ首目長家にゐた加州浪人依田八左衞門樣のお孃さま、お千賀さんと仰しやる方を、あの道玄奴が拐わかし連れ出した」

「えッ！お前さんはまた什麼して、あのお千賀さんを……？」

「御恩をうけた方から頼まれて、今ぢや引くに引かれねえ義理となつた。どうでも彼奴を引ッ捕へ、口を割つても泥を吐かせなくては置かれえ積りだ」

「さうですか？お千賀さんの事なら薄々け聽いて知つてますよ。そんなら源吉さん……！」

お兼は何を考へたか、源吉の側へ歩み寄り、延び上るやうに耳へ口を寄せ

「……ね。明晩は屹度、参りますから手抜かりなく遣つておしひなさいよ」

「ふむ！そりや有難え、いゝ事を知らしてくれた。何れこいつが片着き次第、たんまりとお禮をするぜ」

源吉は急に今までと打つて變り元氣になつて笑ひ出した。

「何のお禮なんか要るものですか？それよりはねえ旦那！源さん！此度こそ、私の實意がお判りでせうね？」

こつてりと蕩ける媚を眼元に湛えして

「しつぽりと私をたんのうさせて下さいよ」

「忝じけれえ。忘れやしれえぜ」

と、源吉は夢中で外のことを云つて居つた。

「まア嫌だ！私の肝心の言葉を上の空で聞いてさ」

「ではお兼さん！また逢はうよ」

源吉は身を躱へすと、お兼の留める袖を拂ひ、元來た道へ驅け出した。

「旦那！源吉さん！何て氣の早い人だらうね」

ジッと後姿を見送りながら

「いい按配に手を濡らさないでお金儲けが一人占めかえ。オホヽヽ、お芽出度く出來てるんだもの」

ラヂオ

大連 JQAK　十月六日午後七時

▲ラヂオ體操
▲露語講座（第五十一課）大連語學校、グロースマン
▲講話（亞細亞民族を憶ふ）平岡喜智
▲レコード（イ）死の島、ラフマニノフ作、指揮同人（ロ）グレッツコリアン・チヤント、フロンザリー絃樂四重奏團
▲俗謠　數種、唄川田梅丸、三味線眞崎ツネ
▲支那唱（落馬湖）唱陳篠紅、師付王振泉
▲料理献立
▲職業紹介事項
▲天氣豫報

第廿三回　滿日勝繼碁戰

【林氏一回勝二回目】　三子　湯淺唯仁　二段　林

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

文藝

城所英一氏に與ふ

武田尊市

城所氏が滿洲短歌九月號に執筆された「泥試合と我等の立場」なる一文を讀み、第三者として一言する。

「滿洲短歌」創刊後間もなく、小生の畏友、池內赤太郎氏の許に滿洲短歌同人中の巨頭と目さるゝ城所英一氏より左の如き書簡が屆いた。

×　×

池內赤太郎樣

先日は失禮しました。滿洲短歌御覽の事と思ひます……今後とも是非御教導を仰ぎ度く就而は早速乍ら御願ひ申したい事があるのです。御多用中恐縮ですが御承引下さいませ。それは「滿洲短歌」の忌憚なき猛評を御願ひし度い事です。公平に御教示御叱正を賜り度い事です。就ては在滿只二つのものとして、合崩との比較批評を是非とも御願ひしたいのです。滿洲の歌壇（といふもの）の爲にも、その將來の爲にも、それよりも我々の勉強精進の爲に是非忌憚なき腹藏なき御批判が欲しいのです。

×　×

右は先頃大連新聞紙上にて池內氏の文中にも既に一部引用されて居るから、記憶のいゝ讀者は知つて居る筈と思ふ。此の手紙は僕の論旨を進める上にも一根據となるのであるから、讀者は注意して見て置いて戴きたい。

×　×

城所氏が池內氏に敬慕懇望せる程度の如何なるものであるかは右書面を見れば明瞭である。然るに城所氏は「泥試合と我等の立場」なる文中、池內氏に對し不埒な言動をなして居る。若輩僕を義憤に起たしめた所以である。

×　×

池內赤太郎氏は先頃滿洲短歌出詠諸氏の作品批評を滿洲日報紙上に連載した。元より率直公平であつた事は評文を讀めば明かである不幸にして城所氏等の作品は讃評を受くる所とならなかつた「滿洲短歌」の忌憚なき猛評を御願ひし度い事です。公平に御教示御叱正を賜り度い事です……」と書面を寄せて居る城所氏としては、當然嚴肅な批評を豫期すべく又其批評は敬虔の態度を以て、熟讀玩味すべきである。さうする事が獨立した人格として池內氏の勞に酬ゆる當然の儀禮だ。是は決して批評を鵜呑みせよと言ふのでは無い。

×　×

然るに城所氏は池內氏の批評に對し如何なる態度を取れるか。曰く「池內赤太郎と云ふ人が滿洲日報紙上で滿洲短歌の批評をした、別に氣にとめて見もしなかつたので其內容は忘れて了つた……」「勿論異議も夥だしく有り驚くべき料簡を憐れみもしたが……」「池內君などは我々に取つて何者でも無く忌憚なく言ふならば同君を我々以上だとは夢にも思はぬところであり云々」是等の言葉が嘗て池內赤太郎氏に對し「是非御教導を仰ぎたく……公平に御教示御叱正を賜り度い事です……」と辭を低くして懇願した者の口から平氣で吐ける言葉か。城所氏の人格の如何なるものであるか御承知の人々は讀んで戴かなくともいゝ。同氏を買被つて居る人等は彼此對照して讀んで見られたい。是は短歌批評等よりも更に一歩立入つて考慮すべき問題だと思ふ。

×　×

城所氏は尙金田氏が滿洲短歌に寄せた好意を有難がつたり迷惑がつたりしたあげく池內氏に對し攻擊の火の手を上げて居る。其等は本論に於て筆者の關する所で無いが、聞き棄てならないのは、池內氏に對し「……故意か惡意か或は金田なる人への餘憤の飛沫が、所々に滿洲短歌をさへ傷けるやうな言葉を弄した池內君は、ば紳士的態度に從つて自ら先づ正眼なる我々同人一同に謝罪すべく云々」と言つて居る事である。實にタケダケしい無禮言である。

池內氏は金田氏との論戰中一箇所何處に滿洲短歌を傷けるやうな言辭を弄したか、僕の見る所では左樣な箇所は斷じて無い。城所氏はもう一度讀み直して見よ。然る後、何月何日、何新聞の何處に、左樣の言を池內氏が弄したかを摘記して來れ。

×　×

池內氏は金田氏に對し「潔よくその假面を取り本名を名乘るべきであらう、天下の讀者が抱いて居る大きな疑問は足下が滿洲短歌同人に非ざるかといふ事である。足下は滿洲短歌の爲に、又滿洲短歌同人諸氏名譽の爲に、その住所姓名を白狀すべきであらう」と警告して居る。是に對し滿洲短歌同人諸氏は當然感謝の念を起すべきでは無いか。事も有らうに池內氏に向つて謝罪せよとは何事か。何たる無禮か。

×　×

「紳士的態度によつて云々」せよとか「正眼なる我々同人……」等の言葉は、城所氏の口にすべきで無い事を附言してペンを擱く。【昭和五年九月二十五日】

飛行士（五）

ヴ・イティン作　浦路觀譯

——八月九日の未明でした……と彼は答へた、二人は隣合つて坐つて居た、どちらも同じやうな服裝をしてどちらも綺麗にヒゲを剃つてゐた、彼等は時々一緒になつて口笛を吹いたり輕快な「ギョールズ」に拍手したりしてゐた、二人とも互に少しも變つた所はなかつたが、彼等は別々の自分の過去を見つめてゐた、それは飛んで飛んで飛びぬいて嵐や騒音の中飛行機を操縱した時のことである。

——さうだ、若い時のことだ——それはチャンツェフが偵察飛行から歸つて來た時である、彼は自己の使命を遂げて又安全なる一日を生き延びたかと思つた、命、戰ひ、恐怖——何と云ふ彼の頑固な歡喜の趣味であらふ？チャンツェフは賭博者のみの受ける强烈な幸福をうけた、彼は飛行中突然極近くに敵機の爆音を聞いたので彼も應戰した、然し敵機の方が上だつたのでこちらは不利だつた、チャンツェフは一方の側にはずれたのだがドイツの飛行機は執拗に倚も挑戰して來た、敵の彈丸はタンクにも命中したので、ガソリンの爆音が一瞬中絕した、彼はその瞬間しまつたと思つた、然し彼はその時絕望と恐怖の餘り無我夢中で昇降舵を引いた、そして地上がチラりと見えた時、その綠の上にドイツ機の十字形のしるしを見た、彼は思はず識らず機關銃に手をかけた、戰鬪は非常に急速度で行はれた、敵の飛行機は高度計の針のやうにぐる／＼と廻り始めた、そして下向きになると急に大速力で下降し始めた彼はテカ／＼光つてゐる敵機に向つて盛に彈丸を浴びせて遂に彼はドイツ機が錐もみをしてだらしなく地上に落下しつゝあるのを見た、彼はこの勝利を感ずるやうな幸福に叫び出した、彼は再び空中に唯一人殘つた

——もう私にはあんなことは二度と來ないだらう、昔のやうなカラシは二度と味はへない——とチャンツェフは憂鬱に言つた

——八月九日ですか？——とエッツは獨言のやうに言つた——ゾロタリパ戰線で味方のやられたのは一機丈だ、だがそれは確か二十何日だつたが……それはファーテルランド號——皇帝ドブレスチだつた、その時には簡單な出來事であつた、エッツはその時最初の敵を見付けた、機腹には十五番の十字架が書いてあつた、エッツは樣子は見とゞけて敵に知られないやうに一度雲の中にかくれた、彼の心臟が「よし」と一打ち打つと彼は急に降舵をとつた、灰色の雲を出て水色を帶びた地上に美しくへりをとつて敵の翼が見えた時露機は急にそれしすぐには應戰しなかつた、エッツの方がはるかに位地も速力も有利であつたので彼は更に正確に彈丸を浴せることが出來た（つゞく）

露西亞語講座

ПЯТНДЕСЯТЫЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, есть ли у вас сукно.
Б.—Да, имеется.
А.—Покажите, пожалуйста, мне хорошее сукно.
Б.—Вот, пожалуйста.
А.—Сколько стоит ярд.
Б.—Ярд стоит девять рублей.
А.—Это очень дорого.
Б.—Если вы немного уступите, то я возьму.
А.—А вам сколько нужно.
Б.—Я хочу взять себе двадцать шесть ярдов.
А.—Хорошо, я уступлю вам по восемь рублей ярд.
Б.—Тогда, будьте добры, заверните пожалуйста и пришлите ко мне домой.
А.—Слушаюсь.
Б.—Скажите пожалуйста, есть ли у вас хорошие перчатки.
А.—Да, имеются.
Б.—Сколько стоят такие перчатки.
А.—Такие перчатки стоят шесть иен.
Б.—Хорошо, заверните их и вместе с сукном пошлите домой.
А.—Слушаюсь.

第五十一課

А.—オ宅＝羅沙ガアリマスカ，ドーゾ云ツテ下サイ
Б.—ハイ，ゴザイマス
А.—ドーゾ，良ロシイノヲ見セテ下サイ
Б.—サア，ドーゾ
А.—一ヤル　イクラデスカ
Б.—一ヤル　九圓デゴザイマス
А.—其レハ非常＝高イデス
Б.—モシ少シ勉强シテ呉レマシタラ私買イマショ
А.—貴君ハドレ程オ入用デスカ
Б.—私ハ百二十六ヤル買イタイト思イマス
А.—良ロシイ，私ハ一ヤル八圓ツヽ＝勉强シマス
Б.—ソレデハ，ドーゾヨク包ンデ下サイ，ソシテ私ノ宅＝送ツテ下サイ
А.—カシコマリマシタ
Б.—オ宅＝良イ手嚢ガアリマスカ，ドーゾ云ツテ下サイ
А.—ハイゴザイマス
Б.—ドーゾ良イ手嚢ヲ見セテ下サイ
А.—サアドーゾ
Б.—此ノ樣ナ手嚢ハイクラシマスカ
А.—此ノ手ノ手嚢ハ六圓シマス
Б.—良ロシイ，其レヲ包ンデ下サイ，ソシテ羅沙ト一所＝私ノ宅＝送ツテ下サイ
А.—カシコマリマシタ

秋の太子河（一）

淺枝次朗

青雲寺

本溪湖から遼陽まで約二十里、太子河に沿ふて歩く。本溪湖から四里餘、眞直に流れた河が岩山に突き當つて曲線を描くところに林家舖子の村がある。耶馬溪のやうだとは少し言ひ過ぎであるが、山には松あり寺あり、そして裾には三四丁も續いた緋色の灘がある。寺の名は青雲寺、此の寺で最初の宿をとつた。

短歌寸評

池內赤太郎

滿洲短歌（九月號）

○

山裾の雜草のなかに大輪のひまわりの花ひとつ咲きをり　香川季益

「大輪」が利いてゐるのでこの歌は生きる。他の一列の人と同樣氏にもまた素直にものを見てゐると思ふ。素直々々と云つても素直でありさへすればよいとするのではない。尋常に止まつてゐては最早仕方のない事であるが

さわぎたつ人を見下して屋根の上に逃げしましらは蚤をとりをり

の如く表現は飽くまで素直にゆきその見方は尋常に止まつてゐまいとするところがあつて心強く感ぜられる。

かはたれの坂道長し汗づきて自轉車のペタルひた踏みにけり

第一句が利いてゐないやうだ。茲を問題にすれば結句も猶一考を要するかも知れぬ。

○

滿ち來る潮の脚速し磯の邊を輝やかに月は照りいでにけり　戸次千代子

佳い歌である。「潮の脚速し」も「輝かに」もよく利いて居る。只問題は潮の脚といふことが言へるかどうかである。或は「潮さき」といふのではないかとも思ふ。今多忙で調べて見る暇がないから御研究を望む。

○

ゆらゆらとつゆふりにつつ青ぶどうまがきに愛しつらなり實る　川口しかよ

可愛い歌である。第一二句は「ゆらゆらと露こぼしつゝ」であるまいか。

附記　本月號には城所英一君の執筆で「泥試合と我等の立場」といふ一文が載つてゐた。察するに金田武一君は我等の仲間でないと云ふことを世間に明にして置くものであらうと思つた。讀んで見ると、そんな事もいつては居るが全文の結果から見て我々は金田武一君の仲間であるといふやうな事に世間から思はれはしないだらうかと云ふ氣がして滿洲短歌の爲めに惜んでゐる。猶ぼくに對する惡口の言があるが城所君はぼくの文章をロクに讀まなかつたと斷つてゐるからそんな處から謬つたのであらうし、精讀したらまた自ら改變あるべきであらうと思つてゐる。

懸賞文藝作品

秋思・日の丸

島　新太

秋は風に乘つて
しがない禿山を越える
波止場は愁々と白い
入船だ

○

戀なんかしないぞ
なつかしくひそかに憎む
せつない體臭
殺したくなる

○

白日の秋
チカチカ光るピストル
貧乏に疲れた天才

○

赤！赤！
赤が足りない。鯱くらつた
アトリエコートの襟

○

お氣の毒な人間廢業
錯像にきて、戀する
女。にっぽん人

○

痛いやうな鋭角のてつぺんによぢのぼり
チンチン澄んだ空の圓光に仰ぐ
そこで私は
チンチクリンの忘却を欲する。
切に欲する。

○

おや！眞紅な雨だ。
日の丸の旗が四角になつてふるへてゐる。

——九月二十日——

懸賞文藝作品

燈臺風景

橘　幻花

物悲しげな颶風の咆哮、虚空を劈く怒濤の狂奔——暗雲低く罩めて叫ぶ海は嵐の前奏曲……。

「畜生、今に見てゐるがいゝ」

切殺いだ斷崖の岸礁に寝そべつて、安價なキザミの煙を吐き乍ら敏造は瘠せた双頰に蒼白い微笑を浮べた。右頰がずきん／＼と痛む。看守長に毆られた、薄紅い蚯蚓の樣な疵痕——だがその遺恨もたつた今晴れるのだ！

看守養成所を出て、この見る影もない牛島へ廻されたのは、つい一ケ月程前のことだ。そしてこの陰慘な燈臺生活はまだ世慣れぬ若い敏三の魂に、看守見習ひの悲哀を深く植えつけた。性質の惡いマドロス上りの看守長は、その獰猛さを口にも動作にも露骨に現して、威す、罵る、毆る——今日もこれで二度目だ。激怒に膨らんだ心臓が、飽和を越えて、火藥の樣に炸裂した。

「おゝ復讐して異れるぞ！」

午後の交替直後、非番になるのを機に、豫定の手配をすつかり終へ、何時になく間拔けて見える看守長の横顔を冷やかな尻眼に、悠々と岬へ降りて來た。それから半時餘り、彼は此處に蹲まつたまゝ我と我が裝けた罠に滿悅し乍ら、賽の振られるのを待つてゐるのだ。

哀調を帶びた海鳥の群が、斜に岸壁を掠め過ぎた後は、灰色の夜が一刻毎に黑を加へて行く、途端、牛島の一角がくわつ●●●と巨大な瞳眼を見開いた。

ぬばたまの闇を南北に貫く燦々たる紅燈の大光芒！

「見てゐるがいゝ、どんな事が起るか」

今灯の入つた燈臺に、陰惨な一瞥を投げ乍ら、小氣味よげに彼はもう一度呟いた。

海も半島も一樣の夜色に溶け、深み行く夜空から、冷たいものが時雨て來て、燈臺の灯さへ朧にかすれ行く——だが、それは雨の故ではなかつた。

不意に轟々たる風浪の亂舞を衝いて、唯ならぬ叫喚が耳朶をうつた。敏造は打たれた樣にむつくり身體を起して、激しく明滅しつゝ刻々に光を失つて行く燈臺を眞面に凝視した。爛々たる火眼は、のたうち廻る瀕死の怪獸の樣に、一段と光を增し、又直ぐ今にも消え盡きようとしてくるめき縮げ、憤怒とも哀願ともつかない喚き聲が闇を縫つて流れて來る。

「それ見ろ、大將！、苦いか、恐しいか、勝手にしろ、馬鹿野郞！はゝゝゝ。オイルタンクのスヰツチを手切れる迄捻つて置いたんだ。びくともするものか。挺子でも動くんぢやないぞ。今頃になつて急にじたばた狼狽へたつて追付くものか」

敏造は手を拍つて恐戲した。咏かな勝利感に醉つて、譯もなく無暗に手足をばたばたさせた。

燈臺に危機が訪れた。あの大火光も今や須臾にして暗闇の世界に呑まれようとしてゐる……

「愉快だな、胸がすくなあ。野郞しつかりしろ、その不樣はなつてゐないぞ、口惜いか、苦いか苦むのは手前の勝手さ」

敏造は夢中になつて躍り上つたその時だつた。岬の南方にあたつてけたゝましい霧笛が響き渡つた。

はつと我に返つた彼は、發火器で左腕の時計を讀んだ。八時！

「あつ」敏造は今が今迄の復讐に醉痴れた歡喜の絶頂から突如どんと深い谷底へ突落されるのを感じた。××航路の汽船が、今數百の尊ひ生命を載せてこの魔所へ差し掛つて來たのだ。彼は烈しい眩暈を覺えながら、無意識にひよく／＼と立上つた。看守長の玉切るやうな絕叫が、途切れ／＼に洩れて來る……瞬間一切の恩讐が泡沫と消えて、唯勤い悔と、戰慄的な恐怖が犇と彼の心を虜にした。

おーい、今、今行くぞ！」

傾斜を攀ぢ、濤を越え、幾度となく岩に躓いては又起上つて、暗黒の一點に、末期の呼吸を續けてゐる燈臺の一條の灯影を賴りに敏造は狂氣の樣に走つて行つた。（完）

文藝消息

▲大庭武年氏「新青年」に近く發表する探偵小說執筆中のため菊池寛氏一行歡迎記を今回に限り休載

お斷り　▲稻葉亨二氏の「學藝としての廣告とその實際」は朝刊學藝家庭欄に近日から掲載します

女子砲丸投げに 坂田政代孃 日本新記錄

見事に一〇メートル四三を投擲 全滿陸上選手權大會

滿洲體育協會主催の全滿陸上競技選手權大會兼全日本選手權滿洲豫選會は全滿洲一流選手を集めて五日午後一時より大連運動場に於て擧行されたが、トラックコンデイション絶好の割合に餘り好記錄も出ず、僅かに女子砲丸投で坂田嬢が日本新記錄を作りしのみ、戰績左の如くである

トラックの部

八百米決勝 一着三隅一二三(大連)二分一秒二、二着濱田常盛(大連)三着花田一彦(大連)第一周のとき三隅濱田を拔くこと約一米半、濱田ゴールポストを過ぎること約二米三隅を拔き、そのまゝバックストレートに入る、三隅徐々に濱田を追ひつめラストコーナーのとき殆ど併行そのまゝ直線コースに入り兩者競合つたがゴール前約十五米邊で濱田遂に拔かれ約三米の差で三隅勝つ、三隅の優勝は練習の賜であらう

百米豫選 A組一着今井利武(醫大)十一秒六、二着大久保勇(大連)三着小數賀源一郎(大連)B組一着田中盛一(撫順)十一秒二、二着増井正和(育成)三着鶴岡鶴吉(大連)

女子百米豫選 A組一着河野房江(神明)十三秒九、二着村上ヒサノ(彌生)B組一着桑野艶子(彌生)十四秒

二着五島淑子(神明)C組一着土井惠美子(神明)十四秒二、二着河原千鶴子(神明)

高障碍決勝 一着鶴岡鶴吉(大連)十五秒三、二着山田俊男(工專)三着淺坂正一(撫順)

五千米決勝 一着八重樫榮太郎(大連)十六分二十七秒、二着志水政市(大連)三着北村義男(大連)永谷出場せず前記三者で爭ふ、五周まで志水、八重樫併行、北村僅に半周遲る、八周目に八重樫徐々に志水を離し差を益々大にし約三百米の差で八重樫勝つ北村、八重樫に遲ること二周半

二百米豫選 A組一着田中盛一(撫順)二三秒九、二着鶴田鶴吉(大連)三着松重芳雄(大連)B組一着今井利武(醫大)二三秒五、二着大久保勇(大連)三着中尾友次(大連)

女子二百米決勝 一着守岡春子(神明)二一秒九、二着高木ハルエ(彌生)三着山口クニ(彌生)

四百米豫選 A組一着岡健次(大連)五四秒六、二着川口興四郎(工專)三着松重芳雄(大連)

四百米障碍決勝 一着山田俊男(工專)一分〇秒四、二着酒井政則(大連二中)

百米決勝 一着田中盛一(撫順)十一秒二、二着今井利武(醫大)、三着増井正和(育成)五十米邊では田中、増井やゝ遲れて小數賀、今井併行したが今井八十米邊でスパークして小數賀、増井を拔き田中にデットヒートで破れる

女子百米決勝 一着桑野艶子(彌生)十三秒九、二着土井惠美子(神明)三着河野房江(神明)

千五百米決勝 一着永谷壽一(大連)四分十八秒六、二着八重樫榮太郎(大連)三着花田一彦(大連)永谷最初より力走して兩者を約五十米離し八重樫最後の周にて追ひつめ差約十五米となつたがそのまゝ永谷テープを切る

二百米決勝 一着今井利武(醫大)二三秒一、二着大久保勇(大連)三着田中盛一(撫順)

四百米決勝 一着三隅一二三(大連)五二秒六、二着濱田常盛(大連)三着日比滿(大連)

女子四百米繼走 一着彌生高女チーム(葛谷、龜頭、村上桑野)二着神明高女チーム最初より彌生優勢約五米の差で勝つ

八百米繼走 一着OBチーム(小數賀、鶴岡、松重、浦野)一分三三秒四

フイルドの部

砲丸投 一等西村政平一一米九〇、二等須藤直章(醫大)十米八四、三等山口克彦(二中)十米五一

女子砲丸投 一等坂田政代(彌生)十米四三(日本新記錄)

走巾跳 一等柴田義敏(撫順)六米八九、二等田中禾(鞍山)六米八〇、三等湊川捨三(一中)六米七五

女子走巾跳 一等岩崎富士子(彌生)四米二四、二等坂田政代(彌生)四米三二、三等山下チサエ(神明)四米一七

走高跳 一等最上義滿(旅順一中)一米八〇(滿洲對記錄)二等湊川捨三(大連一中)一米七〇三等益田文雄(醫大)一米七〇最上一米八三を試みたが成らず

女子走高跳 一等金子八千代(神明)一米二五、二等河原千鶴子(神明)一米二〇、三等山口ケニ(神明)一米一五

圓盤投 一等山口克彦(大連一中)三〇米九二、二等須藤直章(醫大)二九米八二、三等淺村勝義(工專)二七・二八

槍投 一等米尾滿久(大連)五一米九九、二等岡田勝義(撫順)五〇米三九、三等瀨川克巳(大連)四七米五八

三段跳 一等柴田義敏(撫順)十三米八九、二等田中禾(鞍山)十三米三二、三等最上義滿(旅順一中)十三米三一

女子三段跳 一等坂田政代(彌生)九米七七、二等岩崎富士子(彌生)八米九一、三等濱屋八重子(彌生)

棒高跳 一等淺坂正一(撫順)三米七〇、二等日根野峰三郎(大連)三米五〇、三等西田良知(工專)三米四〇

全日本競技派遣選手內定

右競技終了後役員會議を開催した結果、來る廿七、八の兩日大阪において開催される全日本陸上競技選手權大會に左記三選手を派遣することに內定した

鶴岡鶴吉(高障碍)、三隅一二三(四百米、八百米)、坂田政代(砲丸投)

滿鮮米またも斷然値下げ

滿洲米は各等八十錢 マダム連の萬々歲

內鮮滿米ともに近年珍しい豊作に米穀は下落ちの一途を辿り、大連米穀同業組合では去月二十五日二度目の値下げを斷行したが、更に五日附で更に朝鮮米は檢査特等一叺につき七十錢、滿洲米は各等を通じ八十錢の値下げを發表してマダム連に萬歲を叫ばせた、新に値下げされた白米小賣値標準は左の如くである

朝鮮米 檢查特等四十三瓩入一叺金拾圓八拾錢也、三十瓩入一袋金七圓七拾錢也、

滿洲米 檢查特等四十三瓩入一叺金七圓六拾錢也、特等同上金七圓五拾錢也、檢查一等同上金七圓也、一等同上金六圓參拾錢也

早大9 帝大1

六大學リーグ戰

【東京五日發電通】早帝野球二回戰は五日午後二時廿分より神宮に早大先攻で開始左の如く九對一で早大勝つ閉戰同四時五分

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早大	0	0	0	1	2	0	4	0	2	9
帝大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

バッテリー 早大(惠、多賀、伊達、三浦)帝大(笠間、木越小林)

河合、富浦組霸權を握る

アマチユア庭球大會成績

體育堂主催の大連アマチユア庭球大會は五日午後も午前に引續き北公園テニスコートに於て擧行、中央試驗所の河合、富浦組が優勝した、戰績左の如し

三回戰 廣瀨、內藤(吾妻)四—二東本、外山(電信)▲米地、森門(霞)四—三山田、堺(霞)▲河合、富浦(中試)四—一鶴田、平井(大商)▲內倉、持原(育成)四—三荒川、永里(電信)▲矢野瀨川(工專)四—三太田、大田(白金)▲二宮、高橋(小野田)四—二川瀨、渡邊(育成)▲園部、橫地(中試)四—一伊藤、瀧(育成)▲內村、岡見(滿鐵)四—二西尾安齋(育成)

四回戰 二宮、高橋(小野田)四—三矢野、瀨川(工專)▲內村岡見(滿鐵)四—三園部、橫地(中試)▲廣瀨、內藤(吾妻)四—二米地、森門(霞)▲河合、富浦(中試)四—二內倉、持原(育成)

准決勝戰 河合、富浦(中試)四—一廣瀨、內藤(吾妻)▲內村岡見(滿鐵)四—一二宮、高橋(小野田)

決勝戰 河合、富浦(中試)五三內村、岡見(滿鐵)

シングルスに小寺見事優勝す

ダブルスも藤田、小寺組勝つ 全滿庭球選手權大會

滿洲體育協會主催の全滿庭球選手權大會優勝戰は五日午前九時卅分より中央公園滿鐵コートで擧行、メンスダブルスは未曾有の接戰さなり、結局藤田、小寺組の優勝戰さなつたが、他は簡單なるスコアーにてメンスシングルスは新進小寺、ベタラン、シングルスは五島棄權して渡邊、ダブルスは三浦、飯河組の優勝さなり盛會裡に午後二時半散會した

メンス、ダブルス

藤田・小寺 3 (6—3、6—2、2—6、6—4、6—1) 2 河島・澄田

メンス、シングルス

小寺 3 (6—2、6—2、6—4) 0 藤田

ベタラン、ダブルス

三浦 2 (6—0、6—0) 0 西村・田中（飯河）

けふの寫眞

日曜の催物色々

【上】全滿陸上競技大會で滿洲對記錄を出した最上選手のジャンプと砲丸投で日本記錄を破つた坂田政代さん(圓內)【中】三井物產庭球部の招待試合に太田芳郞氏、永井大連市助役、岡部平太氏らと共に活躍した久米正雄氏【下】本社廣告展餘興に出演して大向ふを唸らせた北村席藝妓連の「都鳥」

全滿弓道の霸 滿鐵本社軍唱ふ

個人選手權遞信の小島氏握る 盛會だつた弓術大會

全滿弓術各道場對抗並に個人選手權大會は我社主催、武德會後援の下に西公園武德會弓術道場に於て五日午前九時より開始、遠く奉天撫順を初め瓦房店、遼陽、鞍山等沿線各道場より約百數十名馳せ參じ、近的十射、遠的五射で各道場必死の競技を續けた結果、對抗選手權は同點で大連遞信俱樂部と再競射が行ひ辛うじて滿鐵本社道場(主將三浦、佐藤、加藤、島崎、岡村)の得るところとなつた各道場の順次左の如し

二位 大連遞信俱樂部　三位 沙河口道場　四位 鞍山滿鐵道場　五位 瓦房店道場　六位 大連武德會支部　七位 工業專門學校　八位 奉天滿鐵道場　九位 熊岳城道場　十位 奉天醫科大學

尙個人選手權は大連遞信クラブの小島氏が十三點を獲得した、なほ個人入賞者は

二等 同遞信クラブ池田氏　三等 瓦房店大石氏　四等 大連遞信クラブ岡本氏　五等 滿鐵本社道場三浦氏

我社の各道場對抗優勝大盃は滿鐵本社へ、個人選手權の大連市長カップ並に小林カップは大連遞信クラブへ授與された【寫眞は向つ右が石原範士、その左が個人優勝盃獲得の小島選手、殘るは本社盃をさつた滿鐵本社道場軍】

「R一〇一號」墜落 四十六名慘死す

印度訪問飛行の英國の大飛行船 フランス ボーヴエ市 飛翔中の椿事

【ロンドン五日發電通】當地に達したる報道によれば四日午後七時卅六分カーヂングトン飛行場を出發印度訪問飛行の壯途についたイギリス大飛行船R百一號はフランスのボーヴエ市附近の上空を飛行中、小山に墜落し火災を起し船體は全く破壞した、乘組員は士官五名兵卒三十七名、乘客十一名、計五十三名で乘客中には航空大臣トムソン卿、民間飛行協會理事サー・セフトン・ブランカー氏も加つてゐるが、このうち六名を除き他は全部燒死した模樣である

航空大臣も燒死 助つたのは僅か七名

【ロンドン五日發電通】アール百一號墜落燒失の災禍に遭つて慘死を免れた機關士リーチ氏がボーヴエ市より通報し來るところによれば同船は出發後六時間半南東に進航エジプトのエスマイリアに向け飛行を續けたが、午前二時六分パリの北方四十哩のボーヴエ郊外に差掛つた際突如墜落し乘員五十三名中乘組員七名だけ助かり航空大臣トムソン卿、民間飛行協會理事セフトン、ブランカー氏始め四十六名の乘客乘組員は船室內で燒死を遂げた

墜落の慘狀 目擊者談

【ボーヴエ五日發電通】R百一號墜落燒失の慘狀を目擊したアロンヌ村長は語る

午前二時過ぎ飛行船の音を聞いて空を見ると闇の中にも鮮かに約百フイート程の低空を巨體が進んで來たと思ふうち突如船首が降下して船體は眞二つに破れ岳の上に墜落したが、地面と衝突せぬうちに凄じい爆音が轟き渡つて爆發し濛々と煙りをあげつゝ落下激突またゝくひまに火焔をあげて凄じく燃えあがつた助かつた七人は船尾に居たもので何れも船體が地面に激突する前に飛び降りるか投げ出されるかして奇蹟的に助かつたものである、その他は中央部船室にゐた爲め逃げ出す途なく慘死したものだ、燒死者の內十二個は殆んど誰れやら區別のつかぬ程黑焦さなつてゐた

實業野球に『霞』優勝

一〇A—四で 滿電大敗す

大連新聞社主催の大連實業野球大會滿鐵對霞の優勝戰は五日午後二時十五分より實業球場で木下(球)武井、上原(壘)三氏審判の下に滿電の先攻で開始、兩軍エラー續出、霞先づ一回に足立、大石の安打、高原の四球とで二點を取り、二回滿電針原の快走、霞軍中堅手の凡失等にて二點を返し、その裏霞直に二個の四球、捕手の三壘暴投等にて二點を加へ、二回兩軍得點なく、四回滿電二個の四球と相手遊擊手の二失、二盜壘等で無安打にて二點を占め同點となつて色めいたが滿電その後は益田投手の好投に阻まれ、僅か大藤、大野の散發安打があつただけで得點なく一方霞軍は五回裏に四個の四球、二安打、滿電遊擊手の二失等にて完全に敵陣を混亂させ、滿電井上投手の救援も及ばず、霞この回十人の打者を送つて一擧五點を大勢を決す、その後滿電は老雄大野を起て、その好投により六回二失策と大石の安打に一點を許しただけで結局十A對四にて霞大勝す、閉戰時に四時廿分、終つて實性大連新聞社々長より霞クラブに對し優勝盃の授與あり大會の萬歲を三唱して盛會裡に散會

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿電	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4
霞	2	2	0	0	5	1	0	0	A	10A

滿 電　木賀島野原藤川泉原山田原上　鈴佐濱大針大吉今持槍太顯井

育成慘敗

對滿鐵蹴球戰

大連滿鐵對育成ラグビー戰は五日午後二時二十分より工專グラウンドで高須(主審)辻岡、野尻(線審)三氏審判の下に育成キックオフで開始、五十一對十で滿鐵大勝

滿鐵 51 (27—0、24—10) 10 育成

最終日の競馬賑ふ

昨日午後の成績

▲第六競馬(各抽千六百米)第一着初風(田中騎手)二分十四秒一、第二着伊吹、第三着眞龍(配當七圓四十錢)

▲第七競馬(各抽二千米)第一着惠以(保利騎手)二分四十四秒三、第二着華王、第三着大正(配當六圓四十錢)

▲第八競馬(各抽一千八百米)第一着紀州(堤騎手)二分廿七秒三、第二着幾松、第三着金峰(配當五圓)

▲第九競馬(秋抽二千米)第一着鞍馬(福島騎手)二分四十六秒、第二着隆、第三着香賓(配當五圓)

▲第十競馬(各抽二千四百米)第一着羽衣(田中騎手)三分十五秒三、第二着天龍、第三着日之丸(配當十五圓二十錢)

▲第十一競馬(新古呼特別二千米)第一着漣(打田騎手)二分三十二秒四、第二着豐穣、第三着大連(配當五圓)

▲第十二競馬(新古呼優勝二千四百米)第一着武幾島矢(打田騎手)三分五秒、第二着隆洞、第三着世近(配當三十六圓九十錢)

▲第十三競馬(秋抽千六百米)第一着大幸(田中騎手)二分四十四秒四第二着華英、第三着多嘉保(配當五圓)

▲第十四競馬(各抽千六百米)第一着秣欄(山下騎手)二分十三秒四、第二着逸深、第三着早風(配當十二圓二十錢)

▲第十五競馬(駁鐵速步四千米)第一着海林(內田騎手)十分一秒四、第二着千里、第三着東山(配當ナシ)

滿日各地版

奉天

外人觀光團體を長く滯在させる
全國ホテル協會總會の決定
次回は東京で開く

全國ホテル協會總會は四日午前九時から奉天ヤマトホテル地下室大廣間に於て協會員その他三十一名出席の上開催され各員持寄の案につき協議の結果左の如く決定し午後四時半頃閉會した

一、京都ステイションホテルの入會承認の件

二、毎年三百名乃至は四百名も世界一周團來るが是等に對して更に日本に滯在期間を長からしめるため團體の廻遊する地點を增加し宿泊所設置すること

三、ホテルの事業發達を期すに必要な法規を作るやう觀光局に請願すること又その他の稅金等の負擔についても出來るだけ輕減するやう同局に請願すること

四、國際觀光局長折井煕爾氏をホテル協會の名譽會員に推薦すること

五、委員を設定しホテル協會の組織を改善すること

六、外人觀光團の來訪に際し官憲の外人取締りを出來るだけ寬大な處置に出るやう當局に請願すること

七、次期總會は東京帝國ホテルで開催すること(昭和六年二月十一日前後に)

この限りにあらずさ

◇

春日小學校では四日午前八時から同校々庭に於て運動會を開催したが絕好日和に惠まれ盛況を極め午後四時頃閉會した

◇

露人セロの天才ワルフオロメイエフ氏の獨奏會は八日午後七時からヤマトホテルに於て開催される會員は二圓、一圓

◇

ヤマトホテルの洗濯部設置に廢止運動を起してゐる市內洗濯業者は四日朝その組合長以下代表二名が商議を訪問し藤田會頭と面會し滿鐵の民業壓迫に對し極力援助されたき旨を述べる處あつたが更に滯奉中であつた仙石總裁の手許にも嘆願書を提出したさ

鐵道部長最初の訓示

村上滿鐵々道部長は四日午前八時四十五分奉天地方事務所三階廣間に於て鐵道現業員その他五百名に對し

皆さんに訓示するのでなくて實はお願ひしたいのである

と最初から砕け、事務の合理化、經費節約等につき一場の說明あり更に

日本人は勿論中國人に對しては最高のサービスをなし以て日支親善の實を擧げられんことを

と詳細に亙り同氏として最初の訓示があつて九時半頃終了した

不良少年
親兄を探す子
化の皮はげる

秋田縣大館町古部國太郎三男義雄(一二)は兩親に死別後旅順の增田洋服店に就職してゐるさいふ兄を頼つて遙々來滿し旅順に赴いたがその杖とも柱とも賴む兄も旣に內地に引揚げてゐないため已むなく奉天に來る途中瓦房店までは汽車、そこから遼陽までは鐵道線路傳ひに徒步でテクリ更に秋田縣人の同情を受けて去月廿二日漸く奉天に辿着し奉天署の同情によつて市場內中津雜貨店に勤めることになつたことは旣報の通りであるがその後四日間は同店で眞面目に働いてゐたが去廿七日突然外出したまゝ今日に至るまで歸宅せぬので同店では遂にその筋へ搜査願ひを出したが旅順の藥店で厄介になつてゐる際五圓在中の蟇口を窃取逃走したので旅順署より不良少年として手配になつてゐることが判明するに至つた

町のニュース

奉天署では恒例により原動機の定期調査を行ふが十二日から六日間はボイラー、引續き十三日から三日間は原動機の檢査を行ふ由尙各湯屋業者のボイラー並に六月事業……

人事

▲武富拓務省參與官　四日夜行にて來奉
▲白濱用度部次長　三日撫順より來奉
▲日滿鐵道省旅客課長外ホテル會出席者十七名　三日夜來奉ヤマトホテル
▲高木奉天守備隊長　三日湯崗子へ
▲三重縣町村長駐滿軍隊慰問團一行二十名　四日公主嶺より來奉
▲韓麟生氏　四日長春より來奉
▲王家驊氏(瀋陽縣知事)　三日……春へ
▲メーヤー氏(駐奉米領事)　三日夜赴連
▲上田雅郎氏(本社天津特派員)滯奉中の同氏は四日夜行にて歸……

熊岳城

實習所運動會

旣報の如く熊岳城農業實習所の秋季運動會は四日午前八時より擧行せられたが秋氣清く澄み絕好の運動日和に惠まれて齊年の胸は躍り午前中豫定の如く野球相撲圓盤砲丸投等の競技行はれ齊年の意氣は彌が上にも上がり午後の競技は小學兒童公學堂兒童等も加はり益々熱度加はる最後に先般全滿馬大會に出場して優秀の成績を示した齋藤教師の乘馬墜の示範あり障碍柵乘切り等十數種の試乘あり男性的な壯快極まる各競技も無事に終了したのは午後四時頃であつた

瓦房店

公費納入の標語
納稅觀念喚起のため
廣く一般から募集
地委茶話會

瓦房店地方事務所にては納稅觀念を喚起する一方法として課金滯納の標語を募集する事となつたが其の方法は左の通りだ

一、應募句數　一人五句以內(本文)
一、應募用紙　半紙半切又は葉書
一、懸賞　一等五圓、二等三圓、三等二圓
一、審査方法　審査委員に於て定等級を定む同一句ある時は着者を選擇す
一、〆切期日　十月十五日必着のもの
一、應募者は瓦房店管內居住者に限る
一、應募者は地方事務所地方……

公學堂講堂落成式

四平街

惡疫の流行
ご覽のとほり
家庭衛生にご注意

四季を通じて惡疫流行し未だ終熄を告げぬ折柄秋風吹き初めて以來腸チブス、パラチブス、猩紅熱、脳脊髓膜炎等の猖獗を見るに至り衞生當事者は日夕之れが防禦に腐心するも尙根絕するに至らず……

殺菌劑

遼陽

遼陽工場の善後審議會

遼陽工場善後措置問題も約十年間に亘り在住者に種々な衝動を與へてゐたが社員、財團法人の件も三日正式に外務省から許可の電があつたのが分配審議會にては四日午後三時から最終の會を開き、審議書類一切を直に滿鐵會社に廻附するか又は滿鐵會社から現金交附されたる時に於て廻附……

秋の遠足會

觀月滿面會

營口

營口神社の鎭座十年祭
近來の大賑ひ

松本家の不幸

鐵嶺

鐵嶺を中心に壯烈な戰鬪開始
師團秋季演習始まる

庭球大會延期

野犬驅除

卷鐵談嶺

鳳凰城

小學校で國旗揭揚式
運動會を兼ねて

國勢調査整理

仙石滿鐵總裁
けふ營口視察

猖獗

旅順

旅順高女校運動會
創立記念を兼て

將校會送迎會

大和校運動會

全旅順硬球野球戰
工大先勝す

學臺クラブ優勝す
スポンヂ野球に

全滿美術寫眞展
二十五、六の兩日開催
出品締切りは來る十五日

死んだ人

長春

體育デーの競技賑ふ

健兒團に感謝狀

安東

氣の毒な子供に同情金を分與
安東だけで十名に上る

語學校生徒に特典

拐帶店員捕ふ

編物講習會

水道鐵管掃除
各家庭で注意

海の唄　(七四)
仲木貞一作

滿日柳壇
高橋月南選

滿日柳壇募集

題　「留守」「羽織」「叫び」
締　十月十五日着便
句　各題五句(必ず別紙)
宛　大連市彌生町高橋月南

滿日俳壇募集規定

▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙に認む▲締切十月十五日▲原稿に住所姓名明記▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿洲日報
夕刊
十月五日

一部の反對を押切り 張學良氏副司令就任

既に就任を拒む理由消滅し 双十節を期し擧式か

[illegible]……することは既に確定的で十月十日の國慶日に就任式を擧行するものと豫期されてゐる、一[illegible]…び中央側が東北軍出動の交換[illegible]…ゆる元老派の中に今なほ就任に反對の意見が消えないことも事實であるが九月十八日の張學良氏の通電こ[illegible]…た以上既に就任を拒む理由は全然消滅してゐるのであるから[illegible]…日から幾分遲れることがあるとしても就任することは既定の事實と見られてゐる（寫眞は最近の張學良氏）

節約範圍一億 三千萬圓見當

【東京特電五日發】政府が行政經濟化を名として過般六千萬圓の節約を爲したのは歳入激減の穴埋めだつたが歳入豫算改訂後三ケ月の實績を見るに依然豫算より減少を示してゐるも大藏省の豫算よりは惡くなく大體六千萬圓程度で喰止め得る見込が就いた、依つて主税局は改訂後の歳入を大體の基準として明年度歳入豫算を編成中だが大藏省の意向は營業收益税所得税酒税は更に三四千萬圓の減收及び森林收入も相當減收を豫想され結局大體一億三千萬圓の範圍節約を其の輪廓としてゐるもの如くである

倫敦條約論功行賞

三全權には總花的に授爵奏請實現されん

【東京特電四日發】ロンドン條約の御批准も滯りなく終了したので政府は本條約締結の論功行賞につき愼重考究中であるが愈々十一月末頃を期し若槻首席全權以下關係功勞者の行賞を行ふことに内定した模樣である、而して右に關し若槻禮次郎氏の授爵奏請は最早決定的と見られてゐるがただ問題となるのは今回辭職した財部前海相並に松平駐英大使の授爵で政府は目下關係各方面の意向を參酌中である、松平大使の授爵は豫て宮内省方面の希望であり、頗る良い機會でもあるので外務省でも熱心に是を主張してゐるらしい、又財部大將に對しては今回の條約調印に際し軍部の不統一な暴露した爲め一部反對説を唱ふる者もあるが同條約成立に就いて財部氏の努力苦闘は非常なものであり其點、政府に於いては多とし[illegible]るので海相辭任の苦衷に鑑みても授爵を奏請し其の功勞に酬ゆるのが當然であるとの意見が有力になつてゐる、殊に

軍事協定 に關して軍部の一部に反對があることは常態であつて軍事參議會も兎に角承認し、樞府も異議なく可決した結果御批准を得たのであるから從來かかる場合の慣例から言つても毫も遜色にならぬと云ふ説あり、結局松平財部兩氏の授爵奏請は共に實現するものと觀られるに至つた【寫眞は右から若槻、財部、松平三全權】

日曜閑話

尊敬と信仰

▽……長尾半平氏談

後藤伯の銅像が星ケ浦に建つといふので想ひ起すのは私が臺灣總督府の土木局長をして居るときのことである。兒玉伯の壽像が臺北公園に建つた。その除幕式が盛大に行はれた。壽像建設の委員長は佐久間總督、後藤さんは滿鐵總裁であつたが遙々、臺灣に赴き、その除幕式に參列されたのであつた。私は式場の諸設備一切のことを擔當したのであつたが、いよく除幕式が何日の午前何時に行はれ、それから一同、臺北クラブに入つて輕い茶菓の饗應があるといふのであつた。

◇

私は銅像の前へ行つて頭を下げるといふことの無意義なるを信じて居り、併し大勢の間にあつて私ひとりが異例のことを敢てするのも面白くないと思つてゐたから、その日は參列せぬことに決めてゐたのである。然るに一屬官が當日のプログラムを持ち參り、參列者は壽像の周圍を一周して臺北クラブに行くことになつてゐるから、例の堂々巡りをするだけで別に一々頭を下げぬでもよいのであらうと思つたから參列することにしてゐた。いよく參列して第一に佐久間大將、次に後藤總裁、その次が中村是公の兄の鈴木宗言、次が私の順番であつたが謹嚴なる佐久間將軍は立派に擧手の禮をやる、後藤さんも禮をする鈴木も頭を下げて行く、ヤレしまつたなと思つたが私は儼乎として頑張り通し、壽像を見あげたゞけで、首を下げずそのまゝ堂々巡りの後を追ふて臺北クラブの方に向つたのであるが何百人かの參列者が後の方で、アレ長官局長は！といつてワイく低い聲ではあつたが問題にしたのであつた。

◇

私は當時、尊敬するといふことゝ信仰するといふことは全く別箇のことである。社會が未だ充分に進歩せぬ時代にありては敬意と信仰とを混同する。今日は時代も進み名も知らぬ通りがかりの葬儀に出會つて頭を下げても少しも關はず、否、却つて敬意を表することは宜しいことであるが、その當時にありては私は未だ尊敬と信仰とが動ともすると混淆せられる時代であつたから私は頑として頑張り通したのであつた。」

◇

これは兒玉さんが臺灣總督時代のことであつたが滿洲から臺灣に顧旋せられ、臺南へ出張せられたことがあつた。總督が宿舍に着くすると兒玉さんは慣例として直に「あすの日程は？」と問はれる。それから秘書官などが午前は先づ第一に臺南神社、その次はどこく、午後は何々と按配して居つたが、私は午前中の日程は隨行しませんからと兒玉總督に申出ると隨行した一人の祝辰巳君、當時の財務局長であつたが、誠心誠意、眞心を罩めて私の隨行を勸説したのであつたが、私は頑として例により祝君の勸説を斥けた。祝君は泣かんばかりであつた。時に兒玉さんは「長尾局長は明日午後から隨行せよ、信仰はまた別だ」といはれた。この一言に喜んだのは私よりも祝君であつたが、とにかく兒玉伯などは、そんなところにも偉いところのあつた人で充分の領會を持つてゐられたやうである。後藤さんなども信仰といふやうな點になると充分の領會があり、主義や信仰に關して干渉がましいことなどをする人ではなかつた。

◇

とにかく私は信仰といふものと尊敬といふこととを混同することが出來ず信仰はどこまでも信仰、尊敬すべきものはどこまでも尊敬するといふ主義であつたが今日は時世も進歩しこの二ツを充分に使ひ分けるやうになつたから私も今日では銅像に對し敬意を表して頭を下げることをするやうになつたのである。

明年度豫算

廿日ごろまでに大藏省原案決定

十一月四、五日頃豫算閣議 主計當局の意嚮

[illegible]……解決迄には幾分の困難を豫想せ[illegible]ためである

歳入激減 重要政策たる巨額の新規要求、強硬なる海の補充計畫公約の減税等困難を極むる明年度豫算が果して二日頃迄に大藏省に於て纏まるか[illegible]し難く豫算閣議も遲延するだらうと見られてゐる

政府の減税案は誤魔化しだ

犬養總裁の車中談

【東京五日發電通】前橋に於ける政友會關東大會へ出席の犬養總裁一行は五日午前八時五十五分上野驛發列車で出發したが犬養總裁は車中左の如く語る

政府はロンドン條約の責任上から減税と補充計畫とを適當に考慮せねばならぬと云ふ立場になつたがこれに就ては補充計畫の中から金を生み出して夫れを減税に當てると云ふ

雨天秤 をやるのではないかと思ふ、過日井上藏相の談として補充計畫は新規事業だから其の經過は公債に依つてもいゝと云ふやうな新聞記事を見たがそうすれば空軍計畫の費用が抜ける事になるから夫れを減税財源に當てるのではないか、そうでなければ財部海相が辭めた後を安保大將が引受ける筈がない

世界十月の問題

（三）秋を彩るその數々

[illegible]……に日に下がつて來た。アメリカが直接にドイツから取る賠償金は僅かであるが、どこの國に渡す賠償金でも結局はアメリカへ流れ込むのである。それを踏み倒すといふ亂暴者がのさばり出して來たことはアメリカの金融業に頭痛の種を與へ、その上に折角安定したヨーロッパの政局に大きな不安をかもして居る。ドイツが賠償金を踏倒すと公言すれば勢ひアメリカはドイツに金を貸すことを控へる、れ故にドイツ財界の有力者は困つた顏をしてゐる。死んだストレーゼマンはさすがに偉かつた。彼は常にヴエルサイユの講和條約は忠實に履行すると宣言してゐた。それでアメリカも安心して金を貸した。ドイツはストレーゼマンの御蔭で賠償金よりも、より多くの金を借りることが出來た。それでドイツは復興し、それで産業合理化が出來たのである。今後若しこの大切な金主に見限られたら、ドイツは行詰つてしまふ。ドイツが行詰ると、ヨーロッパ全體の經濟界が惡化する。

ドイツの政局

ドイツの新議會は十月十三日を以て召集される筈である。議場が狹くて新議員五百七十五名を容れ難いのが問題となつてゐる。ブリユーニング内閣は從來遂行し來つた經濟、財政、社會の諸政策を引續き遂行するため、これに關聯する諸法案を新議會に提出する段取である。今度の選擧で勢力が激増した國粹社會黨（フアシスト）及び共産黨の左右兩極端派が猛烈に政府を攻撃するであらう。政府はこれに對し如何に應戰するか、そして第一黨たる社會民主黨はブリユーニング内閣を援けるか、現内閣の運命はこれできまるであらう

英帝國會議

ドイツの政局と共に、注意すべき問題はイギリスの帝國會議である。これは本月一日からロンドンで開かれてゐる。會議はこの月中續く。會議の中心的問題はイギリス、カナダ、濠洲、南阿などの親類同志がもつと御互の間の通商關係を密接にしやうといふところに在る。互惠關税でもやつて、親類同志の貿易を促進するには、自然と他の國の商品を排斥せねばならない、品も良くて値段の安いものがあつても親類に義理を立て、それを買はない――などゝ言ふ事は果して纏まる話だらうか。イギリスの勞働組合會議と工業聯合會とは最近共同覺書をマクドナルド首相に提出して、勞資双方の利益のため、英帝國通商會議の開催及び常設機關の設置を建議した。

浦鹽鮮銀支店問題 損害賠償要求か

勞農の檢査漸く終了

【東京特電五日發】浦鹽における勞農官憲の鮮銀支店檢査は八月十二日開始以來五十餘日を費して去る三日、漸く終了したとの報が四日、大藏省にも正式に入手されたので關場銀行局長は直に井上藏相を訪問して之を報告のうへ今後の對策に關し種々打合せた當日の入報は詳細を盡さず檢査終了後、露國側が如何なる態度を以て臨んで來るかなほ不明であるが先方の出樣如何によつては既に決定した抗議を續けるは勿論、銀行檢査中、露國官憲が意識的に營業妨害の行爲に出たことおよび同支店における露人の預金を強制的に引出さしめたことは鮮銀に對し莫大な損害を與へたものであるから之を理由に鮮銀をして損害賠償問題を提起せしむべしとの意見が有力に行はれるに至つた

聯盟總會閉會

【ジユネーブ四日發電通】第十一回國際聯盟總會は四日正午閉會さる

如何に騷いでも議會に提出

勞働組合法案と内務省の意嚮

【東京特電四日發】政治季節を前に控え全國の各資本家團體が再起し勞働組合法の議會提出を阻止するか或は骨抜きとなす爲め協同戰線を張ることであるが、内務省は斯くの如き示威運動は雇傭主側が階級闘爭を挑むものであつて甚だ苦々しき事柄だと看てゐる、而して假令如何に

猛運動 を續け牽制に狂奔しても意に介せず該法案は完全に議會に提出することには變りはない、勞働組合法案の内容は既報の通りであるが第一條の組合の目的第十二條の組合員の保護、第十三條の勞働爭議の免責事項等は成文の修辭上、各方面の意向を斟酌することになり目下内務省社會局に於いて改案中であるが從來充分練り盡された法文だけに内容を變へずに成文上其の意を達成することは容易でないから場合によつては資本家團體に

對案を 求める方針である斯樣なわけで來議會に提出せんとする新勞働組合法案は大綱を變へないから原案と同巧異曲のものとなつて現れやう、なほ勞働協約法は組合法施行後の實績に徵して制定することになつてゐる

都市問題會議

【東京五日發電通】東京市政調査會主催第二回全國都市問題會議は六日より開會全國各都市の外鮮、滿代表、支那漢口等からも參加し總勢八百名に上るはずである

政府所有米を海外に處分

政府の米價應急對策

【東京五日發電通】米價應急對策として農林省では種々の方策を樹て具體案作成を取急いでゐるが低利資金融通に依る農業倉庫の保管等の方法で賣急ぎ防止も相當の效果はあるが其の方法を誤ると現在生絲二十萬梱の堆貨の如く將來の

米價 に非常な壓迫を期し[illegible]

あるとの議論が有力で農林省も此の點に就て愼重に考慮し海外市場の調査を行ひつゝあつたが價格を安くすれば上海、ジャバ方面に充分捌き得る可能性あり從來も少量づゝ海外に處分した經驗もあるので此の際政府としても一時的の

損失 と犧牲を忍んで海外に賣拂ひ數量調節の一助となす事に方針を決定し時期その他具體的方法について目下農務局にて調査中であるが山本前農相時代に約十萬石を上海に處分した如く内地外米商の有力者より指定商人を作りこれを取扱はしむる方法を採るものと見られてゐる

政府はそんな誤魔化しをやつて段々非募債政策を變更するのではないか、補充計畫と矢釜しい事を言つても結局蒟蒻と石とぶつゝかつたのでは火は出ないから此の

問題は 何とか圓滿に納まるだらう、我輩が伊東と結托して政府いぢめをやつたといふがこんなに先の見通しの付いた問題を誰が結托して馬鹿な事をやるものか、財部が辭めた事につき濱口の責任を政友會が攻撃しないのは手温いと云ふものがあるが財部は條約上の責任で辭めたのぢあないだらう、これ以上財部を責めるのは可哀そうだ、米價問題も矢釜しい問題となつて來たが元來食物を安く

供給し やうと云ふ事と農民保護の爲め米價を吊上げねばならぬといふ事は矛盾してゐる米價の吊上げよりも生産費低下の方法を講ぜねばならぬ、夫れには負擔の輕減を圖ると共に科學的經營法が採られねばならぬ

酒税は更に三四千萬圓の減收及び…

第二回豫想は更に增收か

その後の天候も順調

【東京五日發電通】空前の豐作を告げられた米第一回收穫豫想は九月二十日現在を以てされたものであるが九月二十日以後の氣象配置も極めて順調で懸念されてゐる暴風雨及び永雨の襲來もなく其の爲め全國各地の作況を綜合すると稻の結實状況も申分なく無理のない成熟を見せてゐるので愈々農林省發表の六千六百八十萬石の收穫豫想は動かぬ處となつた、既に關東地方、東北地方、北海道全土は完全に成熟して目下續々收穫中であるから今後における天候の支配を受ける事はないと見られる、關西、四國、九州、中國方面は十月中の天候如何によつて幾分收穫の增減ある事は免れぬが既に九月の暴風雨襲來の氣節と雨季とも經過してゐるので此の點は懸念する程の事はあるまじく實收額に影響する事はないと見てよい、而して現在の如き順調な氣象配置が永續して十月中に好天氣が續けば全國的に更に第一回豫想以上に米の增收を見ることゝなり從つて十月三十日發表される農林省第二回豫想は優に第一回發表の六千六百八十萬石を突破するかも知れぬと見られてゐる

勞農のダンピングを禁止

【パリ四日發電】勞農露國の歐米市場における投賣りは其後益々猛烈になり遂に最近國際的政治問題化せんとする形勢にあるも佛國政府は本日内閣會議の結果勞農側ダンピング禁止を目的とする法令を批准した

宇垣陸相辭任說

開院式出席も危惧さる

【東京五日發電通】宇垣陸相は目下國府津に靜養中で病氣の經過は良好と云ふ者もあるが、事實は手術口の深さがなほ約一センチ半許り込んだガーゼがベッとり詰れて出る状況で殆ど退院當時と變りなく斯くては今秋の大演習の扈從も困難であり更に治癒まで二、三ケ月を要するとせば開院式の出席も危惧されると心配する向があり斯くては現在の陸相代理設置の不便や宇垣大將個人の體面からしても宇垣陸相は結局辭任するのではないかと憂慮する向がある

公債相場反撥

【東京五日發電通】三日急低落した國債市場は利喰買物を喚起せると日銀買出に反動來の硬状となり四日前場東株市場長期は左の如く反撥した

甲號五分三日後止と四日前止との比較一圓十錢高△第二五分四十五錢高△一回四分二十錢高△二回四分十錢高△二十二年二十錢高△二十八年五十錢高、佛貨四分七十錢高

天氣豫報

六日（南西の風）晴一時曇

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二一、五	一九、三
旅順	二三、〇	二一、三
營口	二〇、一	二一、二
奉天	一八、〇	二〇、四
長春	一九、〇	一九、六
		一九、八

滿潮　午前九時四十五分　午後十時五分
干潮　午前三時二十五分　午後三時五十五分

矍鑠、壯者を凌ぐ銀杯受領の高齢者

全滿を通じ實に百十五名に達す

本社の喜の字祝に

本社二十五周年並に新社屋落成記念として新設された本社社會奉仕部に於てはさきに駐滿陸海軍各部隊および滿洲各地警察團に對し慰問品を贈るべく、その品物を懸賞にて一般より募集し同時に滿洲における邦人の先驅者であり、又現在滿洲にて活躍しつゝある邦人のよき指導者である在滿高齢者に對していさゝか

感謝の意を表すると同時に、その喜の字祝の意味を兼れ七十七歳以上の高齢者に對して記念銀杯を贈るべく、一般より高齢者の申し出を社告したところ、俄然各方面の好評を博し、旬日ならずして百數十名の應募者を得たのであつた、その後申出書に依り、各方面調査の結果、七十七歳以上の高齢者百十五名に對し本社銀杯を贈呈する事になつたのであるが、殊に

九十歳 以上の高齢者さ

へ見出す事が出來たのは如何に滿洲に於ける邦人の根が深く下りてゐるかを知り得べく、この一事に於ても本社今回の催しが必ずしも敬老の一事に止まらず、非常に意味深いものであつたといへよう、なほ右資格を有する高齢者は全滿各地にわたつてゐるが、殊に最高齢者たる天保十年生れの原籍大阪市、奉天琴平町在住の吉岡サノさん(九二)天保十一年八月生原籍島根縣、大連加茂川町居住飯塚フジさ

ん(九一)の如きは、この高齢にもかゝはらず日々家事を

手傳ふ 程で實に矍鑠たるものである、なほ高齢者を地方別すれば大連七十一名、奉天十四名、旅順九名、その他沿線各地であるが、男子三十七名、女子六十八名で女子の數は男子の約二倍を示してゐた(寫眞は上より吉岡サノさん、飯塚フジさん、伊奈(八九)藤田清次郎さん(八九)さん三ツ重の銀杯)

家族連れの見物人で滿員

日曜と好天氣に惠まれて けふの本社廣告展

本社記念廣告展は開會以來非常な人氣、連日二千名以上の來會者によつて會場は滿されてゐるが、本五日は日曜の事でもあり加ふるに近頃にない好天氣に惠まれた爲入場者は平日に倍し會場内は殆ど動かれぬ有樣、殊に三階講堂における餘興場の如きは十二時開演であるにもかゝはらず十時過ぎより滿員で入場を斷るの盛況さであつた即賣店もまた非常な好評で賣上高も連日に倍してゐた、なほ既報の如く廣告展の開期は九日迄延期するが九日は學生のために解放するので一般の入場はお斷りする

印刷 長井印刷所 龍田町(電二一四一一) 講通帳簾價速達します

刑事連を奔弄するグロ事件續出

虚榮を趁ふ若き人妻 獵犬を連れた學生服の怪盜

虚榮に趁る若き人妻をめぐりて關東館内の怪事——獵犬をつれた學生服の怪盜出沒——など探偵興味を唆るグロテスクな事件が續出し流石敏腕の大連署刑事連も翻弄の形で事件の解決に汗だくの態だ——

短時間のうちに大膽な犯行

錠も元通りにして 指紋も殘さぬ用意周到振り

市内藤摩町三六番地滿鐵宿舍關東館内に最近幾々たる盜難事件ありしかも女の獨身宿舍を覘つて忍び込み、極めて短時間のうちに大膽な犯行を仕遂げ、指紋も殘さず、錠も元通りにして逃走するので、容易に手掛りがなく所轄大連署でも手を燒いてゐるが、數日前同館内の滿鐵家庭研究所教師田鎖ツウ(二二)方へ

何者か 忍び入り衣類(へ百三十五圓)を盜み去つた事件があつた、その際犯人が合鍵をもつて忍び入つた犯跡が漸く判明し内部の事情に精通した者の仕業で、殊に女物を好んで竊取する點から推察し、犯人は若き女性で着物を多くためることによつて自己の虚榮心を満たしてゐるといふ女性特有の犯罪心から出發した犯行と睨み爾來大連署では鋭意内偵の歩を進めてゐる、元來關東館内には三百戸の世帶を包容してゐるに拘らず僅か二種類の鍵よりなく

自由に 合鍵をもつて他人の家屋に出入出來るようになつてゐるため、遂に今日の如き瀕々たる竊盜事件を惹起せしむるに至つたもので、館内の人々は一戸一種の鍵に改められんことを連判状にして滿鐵社宅係に要求することになつてゐるといふ

（……）汲取口から忍び入り、縁側の硝子窓を破り、屋内に拔き足、差し足二階の應接間から茶間を搜し廻つた揚句、現金百二十圓とダイヤ腕卷時計一個(時價八十圓)その他衣類、貴金屬を合せて二百數十圓を盜み、元來た便所の汲取口から暗に紛れて逃走した、事件はこればかりでなく同樣手段で數軒の邦人宅を襲ふてゐる、犬を連れてゐるのは見張りをさせるためか巡邏警官の目を誤魔化す

手段で あつて、近頃珍しい怪盜として大連署刑事が躍

犬に張り番させ數軒に忍び込む

奇怪な學生服の賊 大連署刑事が躍起の捜査

獵犬をつれた某中學校の制服を着た怪盜出沒さいへば、獵奇好む近代人には打つてつけの尖端的犯罪だ——これも數日前のこと市内摂津町百四十番地相生由太郎方の裏口へ、午前零時といふ

怪しい 深夜、やがて生れた學生服着用の大男と獵犬一匹——……大男は獵犬に見張りをさせて、自分は相生方の便所……

の捜査を續けてゐる

隅田川の運轉手殺し

遂に逮捕さる ふたりで兇行

【東京五日發電通】府下隅田川口に遺棄した……犯人につき……

（隅田川口に漂着した……）

大連アマチュア庭球大會

參加チーム四十九組におよび各試合とも接戰演出

(……)

秋の競馬

日曜で人氣湧く 午前中の成績

ゲ浦における臨時競馬最終日たる五日は折柄の日曜と秋空一碧好天に惠まれて一段と人氣を湧き立たせ殊に第四競馬では一着の配當五十四圓更に二着の配當七圓五十錢

▲第一競馬(秋季抽籤)千六百米 第一着一瞬(川合騎手)二分……第二着伏見、第三着玉錦(配當五圓)

▲第二競馬(新古呼)千八百米 第一着大星(小川騎手)二分……第二着細目王、第三着……(配當八圓十錢)

▲第三競馬(各抽)千六百米 第一着榮(奥田騎手)二分十一秒、第二着良因、第三着、張飛(配當六圓七錢)

▲第四競馬(秋抽)千六百米 第一……

(……)

味覺の秋 露西亞町に揚がる熟柿

5A——0

カーヂナルス軍堂々と辱を雪ぐ

ア軍手も足も出ず零敗の憂目 世界野球爭覇三回戰

【セント・ルイス四日發電通】ワールドシリーズ第三回戰はカーヂナルスのホーム・グラウンドなるセント・ルイスにおいて擧行、二回連敗のカ軍は豫想を裏切つて五A——零で堂々と雪辱した、カ軍はレギュラーの捕手ウイルソンに代へて出場し投手にはハラハンを起用、ア軍はウオルバーグ投手、捕手は相變らずのコックレンである、かくて試合は午後一時三十四分ア軍の先攻にて開始、カ軍は雪辱の意氣物凄くハラハン投手の好投によりア軍の打撃を封じダウシットの本壘打を始め五回七回八回と安打を集中し勝利を確實にしたが、これに對しア軍は第一回に安打、四球で滿壘の好機を迎へたがものにならず、その後安打四本の散發があつたのみで三壘を踏むものなく完全に牛耳られ、試合經過左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
ア軍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カ軍	0	0	0	1	1	0	0	2	1	5A

經過

△第一回 ア軍ジョップ安打、ダイクス三振、コックレン四球、シモンズ三振、フオクス安打して滿壘となつたがミラー三振して好機を逸す ▲カ軍三者凡退

△第二回 ア軍一死後ダイクス、コックレン共に四球を得たがシモンズの遊ゴロにコックレン併殺 ▲カ軍三者凡退

△第三回 ア軍走者なし ▲カ軍ダウシット本壘打し先づ一點を占めたが續く三者凡退

△第四回 ア軍二死後ビショップの安打ありしのみ ▲カ軍一死後フレーブ中堅安打ウイルソン右翼安打にフレーブ三進、ゲルバートの左翼安打に生還、ウィルソン三壘に走つて右翼手の送球に刺さる、ハラハン四球(此の時ア軍ショーアズ投手となる)

△第五回 ア軍走者なし ▲カ軍(……)

△第六回 ア軍(カ軍ブレーズ退き代つてワトキンス右翼に入る)一死後シモンズ二壘打に出たが後援なし ▲カ軍走者なし

△第七回 ア軍二死後ショアーズを得二走者となつたがダウシット二ゴ

△第八回 ア軍一死後シモンズの安打ありしのみ ▲カ軍ハーフエーワイクス一個ビショップ安打せるもダイクス一個▲カ軍ハーフエーワトキンス共に安打し走者一三壘を占めウイルソン安打に二者生還、ゲルバート一個にウイルソン封殺、ハラハン三振後ダウシット又も安打し走者三一壘に據る(ア軍クキン投手となる)アダムス投飛

△第九回 ア軍ハースに代るムーア安打し二死後ビショップ四球を得たがダイクス三振して五A對〇でア軍惨敗す

軍			
ア	ビショップ	4	
	ダイクス	5	
	コックレン	2	
	シモンズ	7	
	フオクス	1	
	ミラー	9	
	ハース	8	PH
	ムーア		PH
	ボーレー	6	
	ウオルバーグ	1	
	ショアーズ	1	
	クキン	1	
	マックネヤー		PH

カ軍			
ハーフエー	8		
ダウシット	5		
フリッシュ	2		
ボツトムレー	1		
ハーフエー	7		
ブレーズ	9		
ワトキンス	9		
ウイルソン	2		
ゲルバート	6		
ハラハン	1		

(33打數10安打 7三振 3四球 4失策 0 / 33打數7安打 6三振 3四球 0失策 1)

▲本壘打 一、二壘打三

奉天に初霜

例年より遲いが愈よ寒くなる

【奉天特電五日發】天候は回復したもの、三日以來朝夕の氣溫はグッと下り四日朝は奉天にも初霜を見るに至つた、例年に比し二日、昨

早くも大スキー場の新設準備

安奉線の丕頭山に

【撫順特電五日發】冬の運動シーズンを前に控へ早くも安奉線姚千戸屯の丕頭山に大スキー場の新設計畫が樹て目下着々準備を進めてゐるが、スキー季節には日曜、祭日に臨時第二百十一列車を丕頭山驛に停車せしめ、スキー場には休憩場その他の設備をなしスキーヤーを迎へることゝなつてゐるさうであるから本年は四日遅いが寒さもこれからいよいよ本調子に入るわけである

旅順重砲隊

(……)

グライダーの公式運轉に成功

磯部少佐の研究傳はる

【東京五日發電通】獨乙に於てスポーツとして行はれてゐる無發動機飛行機について磯部海軍少佐は數年研究中であつたが、漸く自信ある機體を製作し得たので公式試運轉を既報の如く四日午後三時から立川飛行場で行つた、機體は翼幅六メートル、長さ五メートルの非常に輕快なもので片岡一等飛行士が操縦者となりこれに乘込み三十馬力のスピードで自動車に索引させた、自動車がスタートすると直ちに機體は浮かび約十二メートルの高さに上ると同時に自動車の引綱を切つたが、その機體は極めてなだらかに飛行し高さ十二メートルの高度を以て約百メートル飛行し、第一回の公式運轉は見事成功を收めた、第二回は腰策の綱を用ひて行つたがこれまた何等の故障もなく高さ約十メートルを以て五十メートルほど滑翔したので、見物人一同、……

訪日の英婦人飛行機

バスラー通過

【バスラー(イラク)四日發電通】訪日英飛行家ブルース夫人は四日午前五時四十五分バグダットを發しペルシヤのブシルに向ふ途中當地上空を通過した

加茂博士歡迎會

滿洲技術協會では東京帝大教授工學博士加茂正雄氏が世界動力會議その他の用務を終へシベリヤ經由にて歸朝の途上、七日朝着連するので同夜同博士の歡迎會を催すが、申込は電三五三〇番へ

滿日少年軍捷つ

大連新聞對滿洲日報少年スポンヂ野球試合は五日午前八時三十分より佐町公學堂運動場にて開始、滿日少年軍長打を連發し結局十六對七にて滿日軍大勝した

前澤三郎氏

市内伊勢町金物商前澤洋行主前澤三郎氏は豫て病氣靜養中のところ家族の手厚い看護も効なく遂に四日午後九時四十七分要宅にて死去した

父三郎儀豫而病氣靜養中の處養生不相叶四日午後九時五十分永眠致し候間此段辱知諸彦に謹告仕り候 追而葬儀は六日午後二時自宅出棺攝津町明照寺に於て執行可致候

昭和五年十月四日

男 前澤芳一
男 前澤龍雄
親戚 榊原正一
總代 加藤友治
友人 松島久次郎
總代 高田友吉

店主前澤三郎殿御逝去被致候間此段謹告仕り候

大連市伊勢町 前澤商行 店員一同

文藝

城所英一氏に與ふ

武田尊市

城所氏が滿洲短歌九月號に執筆された「泥試合と我等の立場」なる一文を讀み、第三者として一言する。

「滿洲短歌」創刊後間もなく、小生の畏友、池内赤太郎氏の許に滿洲短歌同人中の巨頭と目さるゝ城所英一氏より左の如き書簡が届いた。

× ×

池内赤太郎樣
先日は失禮しました。滿洲短歌御覽の事と思ひます……今後とも是非御教導を仰ぎ度く就而は早速乍ら御願ひ申したい事があるのです。御多用中恐縮ですが御承引下さいませ。それは「滿洲短歌」の忌憚なき猛評を御示御叱正を賜り度い事です。公平に徹底して在滿只二つのものとして、合歯との比較批評を是非とも御願ひしたいのです。滿洲の歌壇（といふもの）の爲にも、その將來の爲にも、それよりも我々の勉强精進の爲に是非忌憚なき腹藏なき御批判が欲しいのです。

× ×

右は先頃大連新聞紙上にて池内氏の文中にも既に一部引用されて居るから、記憶のいゝ讀者は知つて居る筈と思ふ。

此の手紙は僕の論旨を進める上にも一根據となるのであるから、讀者は注意して見て置いて戴きたい。

× ×

城所氏が池内氏に敬慕懇望せる程度の如何なるものであるかは右書面を見れば明瞭である。然るに城所氏は「泥試合と我等の立場」なる文中、池内氏に對し不遜な言動をなして居る。若輩僕を義憤に起たしめた所以である。

× ×

池内赤太郎氏は先頃滿洲短歌出詠諸氏の作品批評を滿洲日報紙上に連載した。元より率直公平であつた事は評文を讀めば明かである不幸にして城所氏等の作品は讒評を受くる所とならなかつた「滿洲短歌」の忌憚なき猛評を御願ひしたい事です。公平に御教示御叱正を賜り度い事です……」と書簡を寄せて居る城所氏としては、當然嚴肅な批評を豫期すべく又其批評は敬虔の態度を以て、熟讀玩味すべきである。さうする事が獨立した人格として池内氏の勞に酬ゆる當然の儀禮だ。是は決して批評を鵜呑みせよと言ふのでは無い。

× ×

然るに城所氏は池内氏の批評に對し如何なる態度を取れるか。曰く「池内赤太郎と云ふ人が滿洲日報紙上で滿洲短歌の批評をした、別に氣にとめて見もしなかつたので其内容は忘れて了つた……」「多少異議も夥だしく有り驚くべき誤謬も隠れみもしたが……」「池内君などは我々に取つて何者でも無く忌憚なく言ふならば同君を我々以上だとは夢にも思はぬところであり云々」是等の言葉が嘗て池内赤太郎氏に對し「是非御教導を仰ぎたく……公平に御教示御叱正を賜り度い事です……」と辭を低くして懇願した者の口から平氣で吐ける言葉か、城所氏の人格の如何なるものであるか御承知の人々は讀んで戴かなくもいゝ。同氏を買被つて居る人等は彼此對照して讀んで見られたい。是は短歌批評等よりも更に一歩立入つて考慮すべき問題だと思ふ。

× ×

城所氏は倫金田氏が滿洲短歌に寄せた好意を有難がつたり迷惑がつたりしたあげく池内氏に對し攻擊の火の手を上げて居る。其等は本論に於て筆者の關する所で無いが、聞き棄てならないのは、池内氏に對し「……故意か惡意か或は金田なる人への餘憤の飛沫が、文中所々に滿洲短歌をさへ傷けるやうな言葉を弄した池内君は、心有らば紳士的態度に依つて自ら先づ、正眼なる我々同人一同に謝罪すべく云々」と言つて居る事である。實にタケダケしい無禮言である。池内氏は金田氏との論戰中一體何處に滿洲短歌を傷けるやうな言辭を弄したか、僕の見る所では左樣な箇所は斷じて無い。城所氏はもう一度讀み直して見よ。然る後、何月何日、何新聞の何處に、左樣の言を池内氏が弄したかを摘記して來れ。

× ×

池内氏は金田氏に對し「潔よくその假面を取り本名を名乘るべきであらう。天下の讀者が抱いて居る大きな疑問は足下が滿洲短歌同人に非ざるかといふ事である。足下は滿洲短歌の爲に、又滿洲短歌同人諸氏名譽の爲に、その住所姓名を白狀すべきであらう」と警告して居る。是に對し滿洲短歌同人諸氏は當然感謝の念を起すべきではないか。事も有らうに池内氏に向つて謝罪せよとは何事か。何たる無禮か。

× ×

「紳士的態度によつて云々」せよとか「正眼なる我々同人……」等の言葉は、城所氏の口にすべきで無い事を附言してペンを擱く。（昭和五年九月二十五日）

飛行士（五）

ヴ・イテイン作　浦路觀譯

——八月九日の未明でした……」と彼は答へた、二人は隣合つて坐つて居た、どちらも同じやうな服裝をしてどちらも綺麗にヒゲを剃つてゐた、彼等は時々一緒になつて口笛を吹いたり輕快な「ギョールズ」に拍手したりしてゐた、二人とも互に少しも變つた所はなかつたが、彼等は別々の自分の過去を見つめてゐた、それは飛んで飛んで飛びぬいて嵐や騒音の中飛行機を操縦した時のことである。

——さうだ、若い時のことだ——

それはチャンツエフが偵察飛行から歸つて來た時である、彼は自己の使命を遂げて又安全なる一日を生き延びたかと思つた、命、戀ひ、恐怖——何と云ふ彼の頑固な歡喜の趣味であらふ？チャンツエフは賭博者のみの受ける强烈な幸福をうけた、彼は飛行中突然極近くに敵機の爆音を聞いたので彼も應戰した、然し敵機の方が上だつたのでこちらは不利だつた、チャンツエフは一方の側にはずれたのだがドイツの飛行機は執拗に尚も挑戰して來た、敵の彈丸はタンクにも命中したので、ガソリンの爆音が一瞬中絶した、彼はその瞬間しまつたと思つた、然し彼はその時絶望と恐怖の餘り無我夢中で昇降舵を引いた、そして地上がチラリと見えた時、その線の上にドイツ機の十字形のしるしを見た、彼は思はず識らず機關銃に手をかけた、戰鬪は非常に急速度で行はれた、敵の飛行機は高度計の針のやうにぐる／＼と廻り始めた、そして下向きになると急に大速力で下降し始めた彼はテカ／＼光つてゐる敵機に向つて盛に彈丸を浴びせて遂に彼はドイツ機が錐もみをしてだらしなく地上に落下しつゝあるのを見た、彼はこの戰鬪を歡ぶるやうな幸福に笑ひ出した、彼は再び空中に唯一人殘つた

——もう私にはあんなことは二度と來ないだらう、昔のやうなカラシは二度と味はへない——

とチャンツエフは憂鬱に言つた

——八月九日ですか？——とエッツは獨言のやうに言つた——ソロタリバ戰線で味方のやられたのは一機丈だ、だがそれは確か二十何日だつたが……

それはファーテルランド號——最新ドプレスチだつた、その時には戲顫な出來事であつた、エッツはその時最初敵を見付けた、機體には十五番の十字架が書いてあつた、エッツは樣子は見とどけて敵に知られないやうに一度雲の中にかくれた、彼の心臟が「よし」と一打ち打つと彼は急に降舵をとつた、灰色の雲を出て水色を帶びた地上に美しくへりをとつて敵の翼が見えた時露機は急にそれしすぐには應戰しなかつた、エッツの方がはるかに位地も速力も有利であつたので彼は更に正確に彈丸を浴せることが出來た（つゞく）

露西亞語講座

ПЯТНДЕСЯТЫЙ УРОК.

А.—Скажите пожалуйста, есть ли у вас сукно.
Б.—Да, имеется.
А.—Покажите, пожалуйста, мне хорошее сукно.
Б.—Вот, пожалуйста.
А.—Сколько стоит ярд.
Б.—Ярд стоит девять рублей.
А.—Это очень дорого.
Б.—Если вы немного уступите, то я возьму.
А.—А вам сколько нужно.
Б.—Я хочу взять стоя двадцать шесть ярдов.
А.—Хорошо, я уступлю вам по восемь рублей ярд.
Б.—Тогда, будьте добры, заверните получше и пошлите ко мне домой.
А.—Слушаюсь.
Б.—Скажите пожалуйста, есть ли у вас хорошие перчатки.
А.—Да, имеются.
Б.—Сколько стоят такие перчатки.
А.—Такия перчатки стоят шесть иен.
Б.—Хорошо, заверните их и вместе с сукном пошлите домой.
А.—Слушаюсь.

第五十一課

А.—オ宅＝羅紗ガアリマスカ，ドーゾ云ツテ下サイ
Б.—ハイ，ゴザイマス
А.—ドーゾ，良ロシイノヲ見セテ下サイ
Б.—サア，ドーゾ
А.—一ヤル イクラデスカ
Б.—一ヤル 九圓デゴザイマス
А.—其レハ非常＝高イデス
Б.—モシ少シ勉强シテ呉レマシタラ私買イマショ
А.—貴君ハドレ程オ入用デスカ
Б.—私ハ百二十六ヤル買イタイト思イマス
А.—良ロシイ，私ハ一ヤル八圓ツヽ＝勉强シマス
Б.—ソレデハ，ドーゾヨク包ンデ下サイ，ソシテ私ノ宅＝送ツテ下サイ
А.—カシコマリマシタ
Б.—オ宅＝良イ手嚢ガアリマスカ，ドーゾ云ツテ下サイ
А.—ハイゴザイマス
Б.—ドーゾ良イ手嚢ヲ見セテ下サイ
А.—サアドーゾ
Б.—此ノ樣ナ手嚢ハイクラシマスカ
А.—此ノ手ノ手嚢ハ六圓シマス
Б.—良ロシイ，其レヲ包ンデ下サイ，ソシテ羅紗ト一所＝私ノ宅＝送ツテ下サイ
А.—カシコマリマシタ

秋の太子河（一）

淺枝次朗

青雲寺

本溪湖から遼陽まで約二十里、太子河に沿ふて歩く。本溪湖から四里强、眞直に流れた河が岩山に突き當つて曲線を描くところに林家灣子の村がある。耶馬溪のやうだとは少し言ひ過ぎであるが、山には松あり寺あり、そして裾には三四丁も續いた紺色の淵がある。寺の名は青雲寺、此の寺で最初の宿をとつた。

短歌寸評

池内赤太郎

滿洲短歌（九月號）

○山裾の雑草のなかに大輪のひまわりの花ひとつ咲きたり　香川季盈

「大輪」が利いてゐるのでこの歌は生きる。他の一列の人と同樣氏にもまた素直にものを見てゐると思ふ。素直々々と云つても素直でありさへすればよいとするのではない。尋常に止まつてゐては最早仕方のない事であるが

さわぎたつ人を見下して屋根の上に逃げしましらは蚤をとりをり

の如く表現は飽くまで素直にゆきその觀方は尋常に止まつてゐまいとするところがあつて心强く感ぜられる。

かはたれの坂道長し汗づきて自轉車のペタルひた踏みにけり

第一句が利いてゐないやうだ。茲を問題にすれば結句も猶一考を要するかも知れぬ。

○滿ち來る潮の脚速し磯の邊を輝やかに月は照りいでにけり　戸次千代子

佳い歌である。「潮の脚速し」も「輝かに」もよく利いて居る。只問題は潮の脚といふことが言へるかどうかである。或は「潮さき」といふのでないかとも思ふ。今多忙で調べて見る暇がないから御研究を望む。

○ゆらゆらとつゆふりにつつ青ぶどうまがきに愛しつらなり實る　川口しかよ

可愛い歌である。第一二句は「ゆらゆらと露こぼしつゝ」であるまいか。

附記　本月號には城所英一君の執筆で「泥試合と我等の立場」といふ一文が載つてゐた。察するに金田武一君は我等の仲間でないと云ふことを世間に對し明にして置くものであらうと思つた。讀んで見ると、そんな事もいつては居るが全文の結果から見て我々は金田武一君の仲間であるといふやうな事に世間から思はれはしないだらうかと云ふ氣がして滿洲短歌の爲めに惜んでゐる。猶ぼくに對する兎角の言があるが城所君はぼくの文章をロクに讀まなかつたと斷つてゐるからそんな處から謬つたのであらうし、精讀したらまた自ら改變あるべきであらうと思つてゐる。

懸賞文藝作品　燈臺風景

橘幻花

悲しげな烈風の咆哮、虚空を劈く怒濤の狂舞——雲低く罩めて叫ぶ海は嵐の前奏曲……。

「畜生、今に見てゐるがいゝ」

切殺いだ斷崖の岩陰に身をそべつて、安價なキザミの煙を吐き乍ら省造は瘠せた双頰に蒼白い微笑を浮べた。右頰がずきん／＼と痛む看守長に毆られた、薄紅い蚯蚓の樣な傷痕——だがその遺恨もたつた今晴れるのだ！

看守詰所を出て、この見る影もない半島へ廻されたのも、つい一ケ月程前のことだ。そしてこの僻な燈臺生活はまだ世慣れぬ若い省三の魂に、看守見習ひの悲哀を深く植えつけた。性質の惡いマドロス上りの看守長は、その獰猛さを口にも動作にも露骨に現して、威す、罵る、毆る——今日もこれで二度目だ。激怒に膨らんだ心臓が、飽和を越えて、火華の樣に炸裂した。

「おゝ復讐して吳れるぞ！」

午後の交替直後、非番になるのを機に、豫定の手配をすつかり整へ、何時になく間抜けて見える看守長の横顔を冷やかな尻眼に、悠々と岬へ降りて來た。それから半時餘り、彼は此處に蹲まつたまゝ我と我が裝けた罠に滿悅し乍ら、饗の振られるのを待つてゐるのだ。

哀調を帶びた海鳥の群が、斜に岸壁を掠め過ぎた後は、灰色の夜が一刷毛毎に墨を加へて行く。途端、半島の一角がくわつと巨大な眼を見開いた。ぬばたまの闇を南北に貫く爛々たる紅蓮の大光芒！

「見てゐるがいゝ、どんな事が起るか」

今灯の入つた燈臺に、陰鬱な一瞥を投げ乍ら、小氣味よげに彼はもう一度呟いた。

海も半島も一樣の夜色に塗はれ、深み行く夜空から、冷たいものが時折落ちて來て、燈臺の灯さへ朧にかすれ行く——だが、それは雨の故ではなかつた。

不意に轟々たる風濤の亂舞を衝いて、唯ならぬ叫喚が耳朶をうつた。省造は打たれた樣にむつくり身體を起して、激しく明滅しつゝ刻々に光を失つて行く燈臺を眞面に凝視した。隆々たる火焔は、のたうち廻る瀕死の怪獸の樣に、一段と光を增し、又直ぐ今にも消え盡きようとしてくるめき猶げ、憤怒とも哀願ともつかない喚き聲が闇を縫つて流れて來る。

「それ見ろ、大將！、苦いか、怨めしいか、勝手にしろ、馬鹿野郎！はゝゝゝ。オイルタンクのスヰッチを手切れる捻つて置いたんだ。びくともするものか。梃子でも動くんぢやないぞ。今頃になつて急にじたばた狼狽へたつて追付くものか」

省造は手を拍つて怒號した。快哉した。眼かな勝利感に醉つて、譯もなく無暗に手足をばた／＼させた。

燈臺に危機が訪れた。あの大火光も今や須臾にして暗黑の世界に吞まれようとしてゐる……

「愉快だな、胸がすくなあ。野郎しつかりしろ、その不樣はなつてゐないぞ、口惜いか、苦いか苦むのは手前の勝手さ」

省造は夢中になつて踊り上つたその時だつた。岬の南方にあたつてけたゝましい汽笛が響き渡つた。

はつと我に返つた彼は、發火器で左腕の時計を讀んだ。八時！

「あつ」省造は今が今迄の復讐に醉痴れた歡喜の絶頂から突如どんと深い谷底へ突落されるのを感じた。××航路の汽船が、今數百の尊い生命を載せてこの難所へ差し掛つて來たのだ。彼は烈しい眩暈を覺えながら、無意識にひよろ／＼と立上つた。看守長の玉切るやうな絶叫が、途切れ／＼に洩れて來る……瞬間一切の恩讐が泡沫と消えて、唯酷い悔と、戰慄的な恐怖が冷と彼の心を虜にした。

おーい、今、今行くぞ！」

傾斜を攀ち、濤を越え、幾度となく岩に躓いては又起上つて、暗黑の一點に、斷末魔の呼吸を續けてゐる燈臺の一條の灯影を賴りに省造は狂氣の樣に走つて行つた。（完）

懸賞文藝作品　秋思・日の丸

島新太

秋は風に乘つて
しがない禿山を越える
波止場は愁々と白い
入船だ
○
戀なんかしないぞ
なつかしくひそかに惰む
せつない體臭
殺したくなる
○
白日の秋
チカチカ光るピストル
貧乏に疲れた天才
○
赤！赤！
赤が足りない。歸くらつた
アトリエコートの襟
○
お氣の毒な人間廢業
餓像にきて、戀する
女。にっぽん人
○
痛いやうな鋭角のてつぺんによぢのぼり
チンチン澄んだ空の圓光に仰ぐ
そこで私は
チンチクリンの忘却を欲する。
○
おや！眞紅な雨だ。
日の丸の旗が四角になつてふるへてゐる。
——九月二十日——

文藝消息

▲大庭武年氏「新青年」に近く發表する探偵小說執筆中のため菊池寬氏一行歡迎記を今回に限り休載

お斷り　▲稲葉亭二氏の「學者としての廣告とその實際」は朝刊學藝家庭欄に近日から掲載します

滿洲日報

開廷を待つ小川前文相・第一回公判の日

總て純な政治資金
答辯頗る曖昧な佐竹氏
私鐵疑獄第三回公判

午後は零時半再開、久須美、太田一條三氏の歸聽間の調べは終りよく～收賄者小橋、佐竹兩氏の取調べに移り審理はいよ～事件の中心に進み滿廷一隊の緊張を示す、訊問は佐竹三吾氏から開始され先づ身分調べに力ない聲で答へた後、久須美、小橋氏等との關係を調べられ次いで

裁判長　越鐵買收の法律案には當時被告は賛否いづれの意見を有してゐたか

佐竹　さして買收の必要を認めず賛成ではなかつた

裁判長　それが後賛成者となつたのは如何なる譯か

佐竹　それは當時の鐵相井上匡四郎子から若槻首相が越鐵買收の法律案を是非通過させたいといつてゐるから省内の反對論を押切り案の通過に努めて異れといはれたので私も已むなく反對意見を放棄したのです

裁判長　衆議院における同案の通過如何は本黨の向背によつて決定する狀勢であつたか

佐竹　さうです

裁判長　これに對する小橋の意見は

佐竹　議會では私の想像から小橋も最初反對であつたのが後に床次總裁に諭されて賛成したのだと申したが事實はさうでなく最初から賛成だつたやうです

裁判長　この問題につき久須美から頼まれたことはあるか

佐竹　宜しく盡力されたいと頼まれたことがある

裁判長　被告は久須美からこの請託を受けたゝめ通過に盡力したのでないか

佐竹　斷じて左樣なことはないと否認し

裁判長　そのため(久須美の頼み)によつてのみ盡力した譯でなくとももそれも與つて力があつたのではないか

佐竹　そんな事はないつもりです

裁判長　被告は小橋、床次に久須美を紹介し又被告自身も小橋、床次に案の通過を頼んだのか

佐竹　その通りです、しかしそれは單に有力の人を紹介してやる意味で紹介したのであり、案の通過を小橋、床次に頼んだのも政府委員としての私の立場からしたことです

裁判長　久須美に對しこの通過のためには相當の金を政黨方面に出さねば駄目だと申した事實はあるか

佐竹　それはあるが自分に對し御禮を出せといふ意味のことを申した記憶はない

裁判長　被告は豫審では「久須美に對しこの骨折に對しては御禮をたんまり貰はねばならぬよと申したが、それは冗談話で決して眞實の收賄の約束をした譯ではなく取る氣があつた譯ではない」と述べてゐるがさうだ

佐竹　(豫審)では前に言つて久須美はお前からさういはれたと申してゐるぞといはれたのでついさういふことを申し又豫審でもその通りいつたので事實は冗談にもそんなことは久須美にいつた覺えはない

佐竹氏は更に檢事局や豫審で心にもない陳述をなした事情につき

佐竹　石郷岡檢事は君は金を取つてゐないことは判つてゐるし何でもないからこの間の消息を明かにして異れと巧みな同情的誘導訊問をされ私もなまじ法律智識のあつたゝめこれ位は重大な結果を招くものでないと考へつい石郷岡檢事に欺まされた

と少し泣き聲になつて立會の石郷岡檢事の方を盗み見ながら恨みの數々を述べ「それなら豫審で何故改めなかつたか」といはれると「檢事局でいつたのでついそのまゝに」とこの點法學博士にもあるまじき頼りないフラ～な陳述をなす

裁判長　被告は小橋に久須美が御禮を出すといつてゐるから宜しく通過のため盡力して異れと頼んだ事があるか

佐竹　そんな意味の事を申したやうです

裁判長　被告は久須美から「佐竹は」と認めその後小橋から來た金の總額を示され

佐竹　それは小橋から選擧に金が入るから早く一萬圓出して異れといつて來たのです

裁判長　それで被告は久須美から取つてやつたのか

佐竹　確かに小橋に渡した

裁判長　その金が久須美から出た事を小橋は知つてゐるか

佐竹　無論知つてゐると思ふ

裁判長　小橋は知らぬといつてゐるが

佐竹　それは小橋が虚偽を申してゐるのです

裁判長　その後被告は久須美から二萬圓受取つて小橋に渡した事があるか

佐竹　有ります

と答へ選擧費用として金を得ることに汲々としてゐた小橋のためその輸みを容れて久須美に出金を要求し昭和三年二月十日東京驛で久須美から金二萬圓の袱紗包みを受取りこれを發車間際の小橋に手渡した事實について詳細述べ裁判長は訊問を一括し

裁判長　右二萬圓は久須美が小橋に對し單に同じ政黨の政治家に對する援助といふ意味で出したのでなく越鐵買收案通過のため盡力して異れた御禮として出したものと思はぬか

佐竹　さうは思ひません純な政治資金の提供と思ふ

裁判長　ではその意味もあると思ふと答へてゐるが

佐竹　豫審でも檢事局でも實業家がたゞ金を出す譯はないといはれたのでそんならさうかも知れぬと申しただけです

裁判長　斯くて越鐵は若槻内閣總辭職の日認可になつたがそれはどういふ譯か

佐竹　別に意味なく書類がそんな風になつてゐたのでその日認可が與へられたといふ偶然に過ぎない

と述べたが終始佐竹の陳述は頗るあやふやで苦しい、午後二時休憩、

小橋氏罵倒の
陳述を飜へすに必死

午後二時五十分から續行訊問は山手急行出願に對する鐵道省内の空氣、被告自身の最初の意見等を訊ねられ「認可しても差支へないものと思つてゐた」と答へ

裁判長　一條が小橋の名刺を持つて被告を訪問し山手急行のことについて話したことがあるか

佐竹　話はありました

裁判長　昭和二年二月頃一條からこの出願に對し盡力を頼まれて謝禮を出すといふ申込を受けたか

佐竹　檢事局、豫審とこれまで總てさう申して參つたが實際はさうだつたかはつきりしませんのです

裁判長　金でなく株をやるといふ話は

佐竹　記憶ありません

裁判長　一條が被告方を訪ずれ山手急行出願の話をした末一條は免許の曉は太田一平から二十萬圓位の金が來るから小橋と被告にこれを謝禮として提供するか又はこれに相當するプレミアム附の株を差上げるといつた事實はあるか、豫審では事細かにその事實を述べてゐるが

佐竹　記憶違ひです、本件は總て間違つた各被告の陳述を基として進められたものなのですから宜しく御裁判願ひます

と頭を下げる

裁判長　被告は豫審で越鐵問題についても山手急行問題についても小橋の供述を判事から讀み聞かされ「小橋はひどいことをいつてゐる」といつてゐるがそれはどういふ譯か

佐竹　越鐵問題では小橋に渡した一萬圓については小橋は久須美から出てゐると聞かされたのでひどいと思つたので山手急行については小橋の起訴處分が永引くため自分の保釋が許されぬのだと聞かされたので恨みに思つたのであつて何もかにも小橋の陳述が偽りだといふ意味ではない

裁判長　一條から受取る謝禮について小橋と被告は相談したことがあるか

佐竹　無い

裁判長　豫審では貴族院の廊下で小橋と相談した事實について詳細に述べ、而かもこれを否定する小橋の供述は事實を誣ふるも甚だしいものだと怒つてゐるではないか

佐竹　それは私の記憶違ひで豫審の取調進行中にその誤りを悟り途中でいひ改めやうと思つたが一度いつたのを改めるのも惡いと思ひそのまゝにした

と豫審では小橋氏をひどく罵倒した不利な陳述をしてゐながら公判廷ではこれを飜へさうと必死にもがき苦む、最後に株のことを聞かれ「一條からでなく太田から話されて、持つた謝禮の意味はない積りだ」と述べ午後四時半閉廷した、次回は七日開廷、いよ～小橋一太氏の取調に入る豫定である

「R一〇一號」墜落
四十七名慘死か
印度訪問飛行の英國の大飛行船
フランス ボーヴエ市 飛翔中の椿事

【ロンドン五日發電通】當地に達したる報道によれば四日午後七時三十六分カーヂングトン飛行場を出發印度訪問飛行の壯途についたイギリス大飛行船百一號は、フランスのボーヴエ市附近の上空を飛行中、小山に墜落し火災を起し艦體は全く破壞した、乘組員は士官五名兵卒三十七名、乘客十一名、計五十三名で乘客中には航空大臣トムソン卿、民間飛行協會理事サー・セフトン・ブランカー氏も加つてゐるが、このうち六名を除き他は全部燒死した模樣である

法政、慶應を破る
四日のリーグ戰

【東京四日發電通】慶法一回戰は午後二時三十分より神宮球場に法政先攻で開始左の如く六對三で法政先づ快勝す、閉戰四時三十六分

バッテリー法政若林、倉、慶應宮武、岡田、小川、經過左の如し

第一回（法政無爲、慶應二點）二死で堀二壘にある時宮武芝生を越える大本壘打を放つて一擧二點を先取す

第二回（法政三點、慶應無爲）藤井安打久保死球大瀧バントに成功した後矢野遊ゴロ野選となり生きる間に藤井還り倉の左前飛球に二死となつたが、若林の安打に又二點を加ふ

第六回（法政無爲、慶應一點）一死後走者三、一壘を占むる時宮武安打して一點を擧ぐ

第八回（法政三點、慶應無爲）一死滿壘の時矢野の遊ゴロを村尾遊撃失して島生還、倉の右犧飛に藤井生還、若林の安打に大瀧を還し法政六點を擧げて悠々勝つスコア左の如し

	回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
法政		0	3	0	0	0	0	0	3	0	6
慶應		2	0	0	0	0	1	0	0	0	3

早大 6A 帝大 3

【東京四日發電通】早帝野球一回戰は四日午後二時四十分戸塚球場にて帝大先攻で開始左の如く六A對三で早大一勝す、閉戰四時三十五分、バッテリー早大多勢、伊達、帝大高橋、笠間、小林

	回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大		0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
早大		1	0	5	0	0	0	0	0	A	6A

…て觀覽の申込も殺到し係員を悩ましてゐる、殊に滿鮮視察に來連する内地學校の見學團も急にプログラムを變更して新築の本社および廣告展を參觀する譯で四日午後も東京府立第二商業學校生徒廿六名が及川教諭他職員三名に引率され、廣島縣立尾道商業學校生徒六十二名が脇教諭他職員二名に引率されそれ～本社および廣告展の見學に來社し、各室毎に稱讚の言葉を浴びせながら約一時間參觀したであつた

秋競馬
五日目の成績

四日星ケ浦における臨時競馬第五日目午後の成績左の如し、尙當日の馬券總賣揚高は四萬一千三十圓

▲第五競馬（新馬速歩）三千二百米第一着東山（堤騎手）八分五十一秒三第二着初風第三着千早配當七圓六十錢

▲第六競馬（各抽）千八百米第一着正和（川合騎手）二分廿八秒第二着小豐（三馬身）第三着紀州（二馬身）配當六圓五十錢

▲第七競馬（各抽）千六百米第一着美勝（打田騎手）二分十三秒三第二着水天（半馬身）第三着…（三馬身）配當八圓五十錢

▲第八競馬（各抽）千八百米第一着昇龍（保利騎手）二分廿九秒四第二着駄…（四馬身）第二着有…（首）配當七圓五十錢

▲第九競馬（各抽）千六百米第一着幾松（保利騎手）二分十一秒二第二着榮（四馬身）第三着初風（…馬身）配當十三圓四十錢

▲第十競馬（秋抽）千六百米第一着十郎（山下騎手）二分十八秒…第二着國華（七馬身）第三着響…

▲第十一競馬（秋抽）二千米第一着華英（福島騎手）二分五十一秒…第二着一瞬（九馬身）第三着滿…（大差）配當五圓

▲第十二競馬（各抽）千八百米第一着凱晋（打田騎手）二分卅二秒…第二着霧島（七馬身）第三着士…（五馬身）配當六圓七十錢

▲第十三競馬（新古呼）千六百米第一着豐福（青柳騎手）二分四秒…第二着大連（五馬身）配當五圓六…錢

▲第十四競馬（秋抽）千八百米第一着雲龍二分四十六秒第二着奥…（一馬身）第三着銀波（一馬身）配當十圓五十錢

失業の親に代り
就職戰線に苦闘
獨立自營の出來る職を覗つて
可憐なる少年、少女

【東京特電四日發】經費節減、整理と相次ぐ馘首沙汰に街頭に投出される失業者の數は日毎に増加して行き、さなきだに秋風索莫たる就職戰線は全く慘澹たる光景で燃えざる火鉢を擁し寒してゐるやうな有樣だ、この時に當つて一家の柱に代つてせめて

家族の
生活に役立たうとする少年、少女の求職者が益々増加して學年末でもない昨今職業紹介所に押しかける數は毎日百餘名（少年六十、少女四十の割合）に達してゐる、しかもそれらの可憐な少年少女達が必死となつてせり合ひ、與へられる機會を惡すまいと努力する有樣は係員も思はず泣かされる程だといふ、殊にこの頃目立つて來たのは以前は地方から上京して來たものが大部分を占めてゐたが最近に至つては殆ど大部分が在京者、子供ばかり、しかもそのうち親の失業から遊びさかりの子供が働かねばならぬやうになつたもの多くなり、全數の二割餘に達してゐる、この

世相が
子供達の心持に驚くべき影響を與へたことは特に注目すべく、その就職希望を一變させ係員を驚かせてゐる、即ち以前は給仕をしながら學校に通ふとか、または事務員見習とかの志望が大部分であつたが、この頃は今まで曾て見向きもしなかつた理髮業、自動車修理業、西洋洗濯業、印刷業などの何か手に技術を覺える職業の子弟を志望するものが激増し職に對しても希望する者がナカ～多い、これは親達の失業が如何に無垢な子供達に心理的

影響を
與へたかを雄辯に物語るものといふべく、子供心にも小資本獨立自營の出來る職業を選ぶ者が多くなつたことは爲政家、教育家にとつても考へさせられるところが多いであらう

全滿弓道の覇
滿鐵本社軍唱ふ
個人選手權遞信の小島氏握る
盛會だつた弓術大會

全滿弓術各道場對抗並に個人選手權大會は我社主催、武德會後援の下に西公園武德會弓術道場に於て五日午前九時より開始、遠く奉天撫順を初め瓦房店、遼陽、鞍山等沿線各道場より約百數十名馳せ參じ、近的十射、遠的五射で各道場必死の競技を續けた結果、團體對抗選手權は同點で大連遞信倶樂部と再競射を行ひ辛うじて滿鐵本社道場（主將三浦、佐藤、加藤、島崎、岡村）の得るところとなつた各道場の順次左の如し

二位　大連遞信倶樂部
三位　沙河口道場
四位　鞍山滿鐵道場
五位　瓦房店道場
六位　大連武德會支部
七位　工業專門學校
八位　奉天滿鐵道場
九位　熊岳城道場
十位　奉天醫科大學

尙個人選手權は大連遞信クラブの小島氏が十三點を獲得した、なほ個人入賞者は

二等　同遞信クラブ池田氏
三等　瓦房店大石氏
四等　大連遞信クラブ岡本氏
五等　滿鐵本社道場三浦氏

我社の各道場對抗優勝大盃は滿鐵本社へ、個人選手權の大連市長カップ並に小林カップは大連遞信クラブへ授與された【寫眞は向つて右が石原範士、その左が個人優勝盃獲得の小島選手、殘るは本社盃をさつた滿鐵本社道場軍】

内地學生團體
本社廣告展參觀

本社主催の廣告展は俄然人氣を呼び連日の滿員で遂に日延の止むなき狀態に立至つたが、それにつれ

轉げ込む
幸運
勸業復興兩債券當籤番號

不景氣を吹つけふこの頃、運がよければ大枚が轉げ込むと皆を長くしてまつ勸業、復興貯蓄兩債券の抽籤結果は去る一日附で左の如く發表された、幸運の方は果してどなた？

第十五回勸業債券一等割増金一千圓第二九八八一番▲第十七回同第三八六三四番▲第二十九回同第六七一一五番▲第三十五回同第三三七六五番▲第八十六回勸業債券一等割増金一百圓第五五四五番第九七四五番第一二四三二番第一二八五九番第二一〇七四八番第一八八〇三一番第一六五〇七番第二二二番第二〇四六六番第二四七二番第二四二六番第二五二一二五番第二四九八六番第二八二九〇六八番第三四〇三番▲第一回割引勸業債券一等割増金五千圓第一九五六番

第四〇一四八番第四一七〇〇番第四三三六五番第四三七四四番第四三八番第四四九一一二番第五四五〇〇番第五三三七二二番第五五九八番第五二三六番第五五九五一番第五六一七八番第五二〇四番第六一八六四番第六〇九六番第六七六九番第八三一六番第七一八七番第九五七八四五番第九四六二一番▲七回復興貯蓄債券一等割増金一千五百圓第四〇五三番▲第十回同一等割増金五圓券一千五百圓、十圓券三千圓第七九九六番

一身もつて職に殉じた
模範警官の招魂祭
來る十一日、旅順で莊嚴に執行

本年度關東廳殉職警察官の招魂祭は十一日午前十時から新市街警察官招魂碑前に於て太田長官以下祭典委員長中谷警務局長を初め遺族及び在旅各高等官並に警察官沿線各警察署長その他多數參列のうへ盛大に執行の筈で、翌十二日は右招魂祭奉納のため振武館並に弓道場に於ては全滿警察署選士の劍、柔道弓道大演武會が催さることゝなつてゐる、なほ十一日式典終了後は直に碑前に設けられたる土俵に於て警察官練習所生及び第二小學校兒童の奉納相撲が擧行する筈で本年は在旅警察官家族は勿論一般市民もこれ等在滿居住民保護のため一身以て職務に殉じたる勇敢なる模範警察官の冥福を祈る爲め多數參拜を望むと

奉納催物も賑かに

教員の身體檢査
來る八日から施行

關東廳管内學校職員の身體檢査は本年から小學校乃至公學堂、普通學堂等に限らず中學校、師範學堂高等女學校等の各中等學校教職員も施行することゝなつたが、本年度檢査日割は左記の通りで學務課武田技師出張の上夫々執行の豫定である

△十月八日旅順第一小△十日旅順第一中△十一日旅順第二小△十三日旅順師範△十四日旅順高等女△十八日旅順師範學堂附屬公△二十一日水師營公△二十四日柳樹屯小△二十五日周水小△二十七日貔子窩小同公△二十八日普蘭店小△二十九日普蘭店公△卅一日南金書院男子部金州

農業學堂△十一月四日大連朝日小△五日同日本橋小△八日同常盤小△十日同大廣場小△十一日同春日小△十二日同松林小△十五日同伏見臺小△十七日大連南山麓小△十八日同聖德小△十九日同嶺前小△二十二日同沙河口小△二十四日同下藤小△二十五日同早苗小△廿九日同第二中△十二月一日大連神明高等女△二日同彌生高等女△三日同士佐町公△四日同伏見臺公△六日同秋月公△八日同西崗子公商業學堂△九日金州小、同南金書院女子部△十日大連市立商工

興銀手形割引に難色

【東京四日發電通】井上藏相は澤桃介、根津嘉一郎氏等財界有力者の陳情に基き年末金融疏通策として興銀をして手形割引に當らしめんと調査を命じた、即ち井上藏相は興銀割引の手形を日銀に再割引せしめんとするに在るが震災手形に懲りた銀行側は頗る難色がある

加賀太夫逝く

【東京四日發電通】江戸趣味豐かな新内の名人富士松加賀太夫は老衰で四日死す年七十五歳

ばいかる丸船客

【門司特電五日發】七日大連入港のばいかる丸の主なる船客は左の如し

田中清次郎、小林理、大島秀…、野田某